まちづくりの基本的な考え方に関する施策

(1) まちづくりに関する情報の共有

※〈　〉内は、「決算事項別明細書」の該当ページを表しています。

【広報活動の充実】 〈93・103 ページ〉

○ 広報紙発行事務
- 12 回発行(全戸配付)

○ FM わっかない放送事務
- 「ハートフルわっかない」　平日 3 回、土日 2 回放送
- 「元気ハツラツわっかない」　週 1 回放送(ウェブラジオ配信)
- 「市政ふれあい通信」　本放送月 1 回、再放送月 1 回（ウェブラジオ配信）
- 「学びふるさと再発見」　平成 26 年 3 月で番組終了(過去に放送されたものをウェブラジオで配信)
- 「防災・災害ひとロメモ」　1 日 1 回毎日放送

○ TV 広報市民ニュース放映事務
- 年 52 回放送(毎週土曜日)

○ ホームページ管理運営事業

	令和 5 年度	令和 6 年度
アクセス件数	763,537 件	949,783 件
各課ページ更新件数	2,288 件	3,947 件
バナー広告掲載数	1 枠	0 枠

【情報公開及び個人情報保護の推進】 〈91 ページ〉

○ 情報公開・個人情報保護事務
- 情報公開請求

  請求件数　38 件

  決定の内訳　公開 4 件

  一部公開 33 件

  非公開 1 件(非公開の内訳　不存在 1 件)
- 個人情報開示請求

  請求件数　3 件

  決定の内訳　開示 2 件、一部開示 1 件

(2) 市民が主役の協働のまちづくり

【協働のまちづくりの実現】 〈97・99 ページ〉

○ 地方創生推進事業

・ 地方創生市民会議での意見交換、パブリック・コメントを経て、地方創生本部会議に諮り、「稚内市デジタル田園都市構想総合戦略」を策定した。

〔地方創生本部会議〕
開催日 ： 令和6年6月25日(火)
内　容 ： 稚内市デジタル田園都市構想総合戦略(案)について
開催日 ： 令和6年9月26日(木)
内　容 ： 稚内市デジタル田園都市構想総合戦略(最終案)について

〔地方創生市民会議〕
開催日 ： 令和6年7月9日(火)
内　容 ： 稚内市デジタル田園都市構想総合戦略(案)について
開催日 ： 令和6年8月16日(金)〔書面開催〕
内　容 ： 稚内市デジタル田園都市構想総合戦略(案)に対する意見聴取

〔パブリック・コメント〕
期　間 ： 令和6年8月16日(金)～9月15日(日)　※意見なし

○ 協働のまちづくり推進事業

・ 協働のまちづくり活動支援事業補助金
　自主的な「まちづくり活動」を行う市民団体等の取組に対して支援を行い、市民と行政の協働によるまちづくりの推進を図る。(補助率2/3、限度額30万円(2年目以降10万円))
・ 令和6年度補助件数 ： 2件(ともに1年目)

【持続可能な地域コミュニティー活動の推進】 〈99 ページ〉

○ まちづくり委員会支援事業

委員会	主たる活動内容
恵北・増幌地区	花いっぱい運動
声問地区	花いっぱい運動
西浜地区	カエルロード交通安全推進事業
宗谷地区	宗谷路クリーン大作戦
大黒・末広地区	アイスキャンドル夢灯り・ハロウィンイベント
南地区	桜木育樹活動事業

※ 各まちづくり委員会の掲載順は、設立年月日による。

○ 地域集会所等改修事業

・ 末広団地集会所（屋根等改修工事）
・ 富磯集会所（外壁修繕工事）
・ 声問町内会館（屋根等改修工事）
・ 下増幌町内会館（解体工事）

○ 地域活動拠点施設管理運営事業 （主な利用形態 ： 各種サークル、各町内会、老人クラブ活動）

・ 利用者数の状況

施 設 名	令和５年度	令和６年度
宝来地区活動拠点センター	20,997 人	26,884 人
東地区活動拠点センター	28,211 人	30,502 人
富岡・はまなす地区活動拠点センター	11,204 人	13,284 人
南地区活動拠点センター	30,940 人	23,378 人

【男女共同参画社会の推進】 〈97 ページ〉

○ 男女共同参画事業

・ パネル展の実施

実施日	場所
令和６年６月５日（水）～６月 16 日（日）	稚内市立図書館
令和６年 10 月６日（日）～10 月 19 日（土）	稚内市地域交流センター（消費生活展）
令和７年１月 12 日（日）	稚内総合文化センター（稚内市二十歳の集い）
令和７年２月 12 日（水）～２月 19 日（水）	潮見が丘小学校
令和７年２月 20 日（木）～２月 28 日（金）	天北小学校

（3） 将来を見据えた自治体経営

【効率的で効果的な行財政運営】 〈89 ページ〉

○ 議会ICT推進事業

・ 議員個々に貸与したタブレット端末を活用し、本会議及び各委員会などの議会運営を実施するとともに、ペーパーレス化の推進と、迅速な情報の伝達及び共有化を図った。

・ SNS等を利用したゼロ予算での議会広報

ホームページやフェイスブック、動画サイト「Youtube」等を活用し、ゼロ予算で議会の活動を広く発信した。

【情報システムによる行政事務の効率化とセキュリティ対策】　〈103 ページ〉

○ 行政情報化事業

・ RPA ツールを導入し、業務の効率化を図った。

業務数 4 件（個人住民税、法人住民税、軽自動車税、固定資産税）

工程数 9 件

ツール未導入時との比較で、業務時間が 276 時間から 160 時間に短縮された。

令和6年度に利用拡大を行った業務はないが、ツール導入後の処理時間削減（116時間の削減）を維持し、業務効率化に繋げた。

・ ＤＸ推進アドバイザーを登用し、DX推進のための基盤づくりや、業務における課題解決に向けた検討を図った。

ＤＸ推進アドバイザーへの相談案件数 ： 22 件

［延べ相談回数 132 回（来庁時 ： 111 回、ｵﾝﾗｲﾝ ： 21 回）］

期間 ： 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

支援項目 ： ① ＤＸ推進のための基盤づくり（推進体制の確立・組織風土の醸成等）

② 市民サービス向上に向けたデザイン思考によるデジタル活用等の推進（窓口業務のDX推進等）

③ デジタルツール活用等による業務改善（よろず相談・働き方改革等）

④ 地域課題の解決（市内企業のDX推進等）

⑤ DX人材の育成（職員研修等）

⑥ その他必要な取組（進捗管理・手法の検討）

・ ノーコードツールを利用して業務アプリケーションの作成を行い、住民の利便性向上を図った。

作成数 2 件（各種検診オンライン予約【健康づくり課】、 オンライン事前申請【総合窓口課】）

※総合窓口課が作成したオンライン事前申請アプリは、新庁舎移転後からの運用を想定。

【職員の人材育成・意識改革の推進】 〈101 ページ〉

○ 職員研修事業

・ 人材育成を推進するため、職員研修を実施した。職階に応じて実施する階層別研修や、社会情勢の変化や直面している課題に即応できる能力の習得を目指す専門研修、派遣研修のほか、e ラーニングなどを実施し、職員の育成に努めた。

・ 一般研修、特別研修 20 回 延べ 597 人 （昨年度 22 回 延べ 696 人）

研修種別	実施回数	延べ参加人数	備考
一般研修	12 回	427 人	
（階層別研修）	（3 回）	（79 人）	新採用職員研修Ⅰ・Ⅱ、管理者研修
（専門研修）	（9 回）	（348 人）	ジョブ・クラフティング研修、交渉・折衝術研修、データ分析・活用研修、アンガーマネジメント研修など
特別研修	8 回	170 人	メンタルヘルス研修、部下育成のためのコミュニケーション向上研修（e ラーニング）など

・ 研修機関派遣研修 2 人 （昨年度 6 人）

派 遣 先 （研修内容等）		派遣人数
全国建設研修センター		1 人
	下水道「基礎研修」	1 人
その他		1 人
	講師養成研修「ビジネス基礎研修」	1 人

・ その他派遣研修 3 人 （昨年度 6 人）

国内先進都市派遣 1 人
石垣市・稚内市職員相互派遣 1 人
国立極地研究所派遣 1 人

【広域的な視点に立った行政運営の推進】 〈103・105・113 ページ〉

○ 社会保障・税番号制度システム整備事業

・ 社会保障・税番号（マイナンバー）制度改正の対応に必要なシステムの改修及び整備を行った。

〔改修及び整備を行ったシステム〕

個人住民税システム、児童手当システム、児童扶養手当システム、健康管理システム、障害者福祉システム、公営住宅システム、生活保護システム、子育て支援システム、戸籍システム

○ デジタル基盤改革整備事業

・ デジタル基盤改革（自治体情報システムの標準化・共通化）の対応に必要な整備を行った。

〔整備を行ったシステム〕

基幹系情報業務システム（国が定める標準化仕様と基幹系情報業務システムとの機能分析作業）

○ 統計調査事業

・ 令和６年学校基本調査（毎年）

調査実施日　　令和６年５月１日

調 査 対 象　　小学校 10 校、中学校６校、幼稚園・幼保連携型認定保育園５園

調 査 方 法　　各学校単位による調査

調 査 結 果　　令和６年 12 月 18 日、国により公表

・ 令和６年全国家計構造調査（5 年毎）

調査実施日　　令和 6 年 10 月及び 11 月

調 査 対 象　　4 調査区

調 査 方 法　　調査員 4 人による調査票及びオンライン調査

調 査 結 果　　令和 7 年 12 月頃、国により公表予定

・ 2025 年農林業センサス（5 年毎）

調査実施日　　令和 7 年 2 月 1 日

調 査 対 象　　31 調査区

調 査 方 法　　調査員 14 人による調査票及びオンライン調査

調 査 結 果　　令和 7 年 11 月末、国により公表予定

子ども・若者の夢を育み、次代を担う“ひとづくり”

(1) 次代を担う人材の育成と地域とともにある学校づくりの推進

【生きる力を育む学校教育の充実】 〈167・169・171 ページ〉

○ 教育研究所運営事業

- 多様化・複雑化している教育現場を支援するための調査・研究を行い、更なる教育の振興・発展のため、今日的な教育課題に即応した研修や事業を展開した。
- 教育研究所研究員(3 人)を配置した。
- ICT研修講座、学校図書館活用実践交流会、英語教育ワークショップなどの各種研修・事業を実施し、スキルアップや実践交流を図った。

○ 外国語指導助手派遣事業

- 小学校及び中学校全学校へ派遣し、英語教育の強化を図った。
- 外国語指導助手　3 人
- 小学校派遣日数・授業時数　192 日・620 時間
- 中学校派遣日数・授業時数　115 日・269 時間

○ 教育相談・不登校対策事業

- 児童生徒の問題行動や不登校問題等の課題に対応した。
- 教育相談所に教育相談所相談員 4 人(内訳:所長 1 人、発達支援コーディネーター1 人、就学前教育アドバイザー1 人、CS統括コーディネーター1 人)を配置し、保護者や関係機関との緊密な連携のもと、児童生徒の問題の早期発見・早期解決や相互の関係改善を図った。
- 稚内教育支援センターに専任指導員(3 人)を配置し、不登校児童生徒に対し、教育相談、体験活動、教科学習等の支援を通じて、心の安定や意欲向上を図り学校生活への復帰を促進した。
- 教育相談所や稚内市教育支援センターをはじめとする教育委員会関係者のほか、高等学校、大学、民生委員児童委員連絡協議会からなる教育相談スタッフ会議を 8 回開催し、見守りが必要な児童生徒に関する情報交換や連携を図った。

○ スクールソーシャルワーカー活用事業(北海道からの委託事業)

- 教育相談所に 2 人を配置した。
- 問題を抱えた児童生徒に対し、そのおかれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法で課題解決への対応を図った。
  支援件数　不登校・家庭環境・発達障がい等に関する支援など計 216 件

○ 放課後学力グングン塾開催事業

- 基礎学力の定着を図るため、小学 3・4 年生を対象に、放課後や長期休暇期間中、国語、算数の学習支援を行った。

・ グングン塾指導員　4 人
・ 実施校　4 校
・ 登録人数 稚内中央小学校 22 人、稚内南小学校 66 人、稚内東小学校 39 人、潮見が丘小学校 48 人
・ 年間出席率　稚内中央小学校 84.2%、稚内南小学校 87.1%、稚内東小学校 89.5%、
潮見が丘小学校 87.3%

○ 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業（特別支援教育支援員の配置）
・ 学校における生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行った。
・ 支援員　21 人
・ 配置校　8 校（稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校、稚内中学校、稚内南中学校、稚内東中学校、潮見が丘中学校）

○ 小学校教育振興事業（学校図書館協力員の配置）
・ 新書や季節の本の特設コーナーを設置するなど、学校図書館の利用促進につながるような環境整備を実施したほか、読み聞かせや市立図書館との連携を通じて読書活動の推進を図った。
・ 協力員を 9 小中学校に 5 人配置した。

○ 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業（学力検査の実施）
・ CRT 学力検査（小学校～国語・算数、中学校～国語・数学・英語）を小学校全学年及び中学校 1、2 学年で実施し、各校の現状を分析し、指導方法の工夫・改善に向け取り組んだ。

○ 学力向上推進事業（小学校・中学校）※新規
・児童生徒一人ひとりの学力に応じた学習内容に対応し、学力の向上及び基礎学力の定着を図るため、AI 型ドリルを導入した。

○ 小学校維持管理事業・中学校維持管理事業
・ 市内小中学校屋体 LED 化整備工事
大岬小学校、富磯小学校
・ 市内小中学校トイレ洋式化改修工事（繰越事業）
稚内東小学校　和式 9 器撤去　洋式 5 器新規設置
潮見が丘中学校　和式 7 器撤去　洋式 4 器新規設置

○ 稚内中学校整備事業
・ 稚内中学校建設工事
稚内中学校校舎及び屋体改築工事（第 2 期）
※工期：令和 5 年 9 月～令和 7 年 9 月
・ 稚内中学校建設工事監理委託
稚内中学校建設工事に伴う工事監理委託

○ 部活動指導員配置促進事業

・ 中学校における部活動指導体制の充実のため、部活動指導員を配置し、担当する教職員の支援とともに、技術の向上、適切な練習方法による事故やケガの未然防止を図った。（宗谷中学校２人）

【地域との連携による家庭・地域教育の向上】 〈165・185 ページ〉

○ 学校運営協議会運営事業

・ 学校・保護者・地域住民が連携し、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創成することを目的として、学校運営協議会制度を創設した。

・ 令和 6 年度は各学校の翌年度経営方針の提示及び承認、各地区における予算・決算の報告、防災学校の実施、子育て運営協議会と学校運営協議会の今後の在り方や連携、学校運営協議会の目指す姿について協議を行った。

○ 学校給食センター管理運営事業、学校給食供給事業

・ 実施回数及び給食数

	令和５年度		令和６年度	
	実施回数	食 数	実施回数	食 数
小学校	1,724 回	278,298 食	1,783 回	281,776 食
中学校	1,169 回	146,388 食	1,197 回	147,568 食
幼稚園・保育所	1,429 回	75,276 食	1,473 回	74,074 食
合　計	4,322 回	499,962 食	4,453 回	503,418 食

・ 特色ある学校給食の実施

バイキング給食の実施

（小学校４校 ： 稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校）

季節行事食の提供（4 回 ： こどもの日、十五夜、クリスマス、ひなまつり）

中学校卒業記念行事食の提供（3 年生を対象にデザートを提供）

○ 栄養教諭による食の指導実施

・ 小学校 7 校 （33 回）

・ 中学校 3 校 （10 回）

○ 学校給食地場産物提供事業

・ 地元食材を利用した給食提供回数 100 回

稚内ブランド 39 回 （一夜干姫ほっけ、稚内牛乳、宗谷黒牛）

地場産物（地元加工食品） 61 回 （ほっけのみりん焼き、ポークフランクフルト、鮭等）

・ 地元食材使用料理・郷土料理等の提供

各団子汁、ジンギスカン、石狩鍋、にんじんしりしり等

○ 学校給食費助成事業

・ 令和 5 年度から制度の拡充を行い、小中学校に通い、給食を受ける全ての児童生徒の保護者に対して、学校給食費助成金として 1 年間の給食費の半額相当分を助成した。また、特定の条件を満たす世帯に対しては、学校給食費特別助成金として残り半額相当分を交付することで、1 年間を通じて給食費を無償とした。（生活保護費、準要保護等の受給期間中を除く。）

・ 学校給食費助成金

助成人数　小学生 ： 1,178 人　中学生 ： 586 人　合計 ： 1,764 人

・ 学校給食費特別助成金

	令和５年度			令和６年度		
	児童・生徒	助成人数	助成率	児童・生徒	助成人数	助成率
小学生	1,321 人	146 人	11.94 ％	1,277 人	159 人	13.50 ％
中学生	671 人	55 人	9.27 ％	655 人	68 人	11.60 ％
合 計	1,992 人	201 人	11.07 ％	1,932 人	227 人	12.87 ％

※ 助成率の算定に当たっては、児童・生徒数から生活保護及び就学援助該当者を除く。

○ 子どものための教育給付費支給事業

・ 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの就学前教育に要した費用を、特定教育施設へ支弁した。

・ 支給対象人員（延べ数）

	満３歳児	３歳児	４歳児以上	合 計
幼 稚 園 （ 1 号 ）	128 人	834 人	1,996 人	2,958 人
幼 稚 園 （ 2 号 ）	2 人	46 人	129 人	177 人
合 計	130 人	880 人	2,125 人	3,135 人

※ 1 号認定 ： 満 3 歳以上の学校教育のみ（保育の必要性なし）の就学前子ども

※ 2 号認定 ： 満 3 歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

私立幼稚園児童数の状況（令和６年５月１日現在）

	満３歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合 計
稚内ひかり幼稚園	2 人	18 人	23 人	23 人	66 人
稚 内 大 谷 幼 稚 園	－	4 人	8 人	6 人	18 人
稚 内 富 岡 幼 稚 園	－	18 人	21 人	17 人	56 人
稚 内 幼 稚 園	－	8 人	12 人	17 人	37 人
認 定 こ ど も 園 稚 内 鈴 蘭 幼 稚 園	－	21 人	25 人	23 人	69 人
広 域 利 用	－	－	－	－	－
年 齢 別 合 計	2 人	69 人	89 人	86 人	246 人

○ 特定教育施設給食費助成事業 ※新規

・ 特定教育施設に通う児童の食事の提供に要する費用の一部を助成した。

令和6年度 3,162件 4,307,720円

【将来の夢や希望の実現に向けた高校・大学教育との連携強化】 〈165ページ〉

○ 育英館大学修学支援事業（利子補給）

・ 貸付枠 5億円（預託金の5倍）

・ 利子補給率 1.125%

・ 貸付人員 2人（貸付額 1,300千円） 昨年度 4人（貸付額 2,500千円）

○ 育英館大学支援事業

・ 大学の健全な運営に対する支援（寄附金） 50,000,000円

○ 育英館大学整備事業

・ 負担金補助及び交付金 9,653,000円

○ 稚内大谷高等学校振興費補助事業

・ 父母負担軽減助成金 2,000,000円

・ 私立学校振興費 5,850,000円

・ 地域産業連携教育及び教育連携事業助成金 3,000,000円

○ 稚内市奨学金貸付事業（高校就学に必要な資金の貸付）

・ 貸付人員 20人（新規1人、継続10人、支度金9人）

○ 稚内市大学育英金支給事業（給付）

・ 支給対象者数 18人（新規6人、継続12人）

○ 稚内市子どもの未来応援奨学金支給事業

・ 家庭状況により大学等への修学が困難な方に対し、日本学生支援機構の貸与型奨学金の返済を支援する給付型の奨学金制度について、支給候補者の募集を行った。

(2) 市民の学びを支える地域づくり

【誰もが気軽に学べる生涯学習の推進】　〈171・173・175・177・179 ページ〉

○ 社会教育推進事業

・ 地域指導者活用の促進

人材バンク活用の促進（登録数 68 団体、指導者数 30 人）

各分野の活動団体を紹介する「学びと遊びの玉手箱」をホームページへ掲載し、関係施設に配置するなどして学習の場を周知するとともに、掲載情報の更新作業を行った。

・ 稚内学の開設

講座内容	受講者数
手に取る宇宙 Message in a Bottle 地球のてっぺん 稚内を巡る旅 2024	29 人
稚内沖合底曳網漁船の歴史 トークセッション 昭和 30～40 年代の稚内	24 人
宗谷海峡戦史～第二次世界大戦と北の防人～	36 人
サロベツ原野における自然公園 利尻における自然公園	22 人
4 講座	111 人

・ 市民講座の開催

講座内容	受講者数
春のヨガ	30 人
親子でキャンプ飯	10 人
星空撮影会	16 人
石鹸づくり	8 人
親子でパステルアート	4 人
フラワーアレンジメント	3 人
七夕のお茶会～琴演奏会～	20 人
韓国語講座（昼）	6 人
韓国語講座（夜）	14 人
秋のヨガ	9 人
キャンドルづくり	7 人
ロシア料理教室	8 人
美腹＆美姿勢教室	3 人
韓国料理教室	8 人
節分のお茶会	12 人

講座内容	受講者数
石器づくり	1 人
豆腐づくり	4 人
桃の節句茶会	12 人
18 講座	175 人

○ 稚内市二十歳の集い開催事業

開催日	開催場所	対象者数	出席者数
令和 7 年 1 月 12 日（日）	稚内総合文化センター	321 人	229 人

○ 生涯学習総合支援センター管理運営事業

・ 生涯学習総合支援センター利用者数

		令和 5 年度	令和 6 年度
利用者数		20,912 人	21,229 人
内訳	団体利用	19,679 人	20,394 人
	個人利用	141 人	104 人
	その他利用	1,092 人	731 人

○ 生涯学習運営事業

・ まなびふれあいフェスタ in わっかないの開催

実施事業	実績
生涯学習フェスティバル	ステージ発表 15 団体 265 人 体験コーナー 8 団体 49 人 来場者数 865 人
市民サークル展	参加団体 8 団体
第 21 回 SO-YA 夢コール（合同合唱祭）	出演者 110 人、来場者約 230 人

○ 生涯学習活動支援事業

・ 生涯学習推進アドバイザーの配置及び派遣

アドバイザー2 人を、生涯学習総合支援センターへ配置し、生涯学習相談の場を提供するほか、市民講座や市民グループの要請に応じて派遣。

・ 高齢者大学の開催

	講座数	受講者数（延べ人数）
楽生大学(声問地区)	9 講座	126 人
いきいき大学（前・後期）	8 講座	44 人

・ 子どもの広場の開催

	講座数	受講者数
前期	6 講座	児童 55 人
後期	7 講座	児童 44 人

・ 風～る主催体験事業

風～るクラブキッズ「木工作と調理」 前後期あわせて 8 回実施 参加者 18 人

・ 外部団体からの要請事業

木工作・工作 令和 6 年 8 月 1 日（木） 参加者 7 人(白樺子供会)

うどん作り 令和 6 年 10 月 11 日（金） 参加者 26 人（声問ノーマライゼーション推進委員会）

○ 子ども会育成事業

実施事業	参加者数等	
	令和 5 年度	令和 6 年度
南極樺太犬慰霊祭	87 人	80 人
稚内市子ども会スポーツ大会	45 人	59 人
稚内市新年子ども会かるた大会	22 人	18 人
宗谷管内子ども会かるた大会	小学生 6 チーム 中学生 4 チーム	小学生 4 チーム 中学生 3 チーム

○ 青少年交流体験事業

実施事業	実施日	事業内容	受入・派遣人数
枕崎市青少年交流事業派遣	令和6年8月2日（金）～8 月 5 日（月）	稚内市の青少年を鹿児島県枕崎市に派遣し、異なる生活や文化、そして、歴史や産業に触れ、知識や視野を広げてもらい、多様化する社会に対応できる人材の育成を行う。	12 人（中学生 6 人、高校生 6 人）

○ 移動図書館運行事業

・運 行 日 数 190 日

・ステーション数 32 ステーション（月 2 回）

・利 用 者 数 1,130 人（貸出冊数 4,028 冊） （昨年度 1,401 人（貸出冊数 5,443 冊））

○ ブックスタート事業

・ 毎月、保健福祉センターで実施される 7～8 か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本 2 冊、読み聞かせアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」をプレゼント。（配布数 106 組）

○ 図書資料整備事業、図書館維持管理事業

・ 利用状況

	令和 5 年度	令和 6 年度
入館者数(開館日数)	44,142 人(290 日)	49,785 人(289 日)
貸出図書数(市民一人年間冊数)	126,308 冊(4.13 冊)	125,958 冊(4.21 冊)
総蔵書数(増加図書数)	195,273 冊(5,813 冊)	197,202 冊(6,140 冊)
有効登録者数(新規登録者数)※	2,633 人(441 人)	2,591 人(483 人)
AV 視聴利用件数	1,429 件	1,353 件

※ 有効登録者数:年度内に図書の貸出を 1 回以上利用した実人数

・ 団体利用数　延べ 197 団体（昨年度　延べ 204 団体）

・ ブックパック巡回　図書館で学年層に合わせ選書した図書(本のコンテナ:25 冊)を一定期間で巡回させる。
（12 団体　幼稚園・保育園 5、小学校 5、中学校 2）

○ 図書館活動事業

実施事業 (R6 実施日)	開催数・参加者数等	
	令和 5 年度	令和 6 年度
映画会	54 回開催／参加者数 221 人	36 回開催／参加者数 213 人
CD コンサート	12 回開催／参加者数 68 人	12 回開催／参加者数 81 人
読み聞かせ	50 回開催／参加者数 150 人	33 回開催／参加者数 477 人
子ども読書週間 (4/23～5/12)	アニメ上映会(2 回／参加者数 17 人)、図書展示	アニメ上映会(2 回／参加者数 7 人)、図書展示
図書館フェスティバル (6/22～23)	期間中 1,301 人来館	期間中 428 人来館
夏休みこどもの学びサポート in 図書館 (7/27～8/25)	テーマ「恐竜」 期間中 3,984 人来館	テーマ「もっと知りたい!からだのふしぎ」 期間中 5,695 人来館
郷土資料企画展 (9/3～29)	「大韓航空機事件 40 年～国境の図書館で平和について考える」 期間中 3,592 人来館	「利尻礼文サロベツ国立公園指定 50 周年記念」 期間中 3,911 人来館
図書館まつり (10/25～11/3)	期間中 1,740 人来館	期間中 1,930 人来館
読書感想文コンクール (表彰式 12/15)	応募 12 校　85 編／入選者数 50 人	応募 10 校　61 編／入選者数 41 人

実施事業 （R6 実施日）	開催数・参加者数等	
	令和 5 年度	令和 6 年度
冬休み家読サポート in 図書館 （12/26～1/29）	テーマ「本の百貨店」 期間中 1,934 人来館	テーマ「給食ワンダーランド」 期間中 3,853 人来館
大黒地区移転 20 周年記念事業 （通年）	写真展、トークイベント、読書マラソン大会、書架リニューアル等 8 事業	
職員派遣等協力	4 件	2 件

○ 図書館活動事業（図書館ボランティア団体との連携事業）

・ ブックスタートボランティア　ラッコの会（会員数 3 人）

ブックスタート事業のボランティアとして、毎月、保健福祉センターで実施される 7～8 か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本の読み聞かせや子育ての相談に応じる活動を実施。

・ わっかない図書館友の会（会員数 39 人）

花壇整備、、ハロウィンイベント、ロビーコンサート、アイスキャンドルなど実施

・ 声の図書館（会員数 8 人）

朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに、声の広報として毎月「広報わっかない」、生活情報として「生活のひろば」や、リクエストに応じた朗読 CD を作製、送付。

「広報わっかない」12 枚、「生活のひろば」12 枚作製、送付件数 153 件

・ 栞の会（会員数 6 人）

朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに、毎月 1 回北海道新聞「卓上四季」や、リクエストに応じた朗読 CD を作製、送付。

「卓上四季」12 枚作製、送付件数 59 件

○ 図書館活動事業（学校図書館支援事業）

・ 団体貸出の実施　小学校 24 件 1,500 冊、中学校 18 件 1,800 冊
・ 学校図書管理システム（市内小中学校 10 校）の管理・運用支援
・ 学校図書館ガイダンスの実施　小学校 2 件 21 人
・ 学校図書館活用交流会の開催（教育研究所との共催）　令和 6 年 10 月 22 日（火）

○ 青少年科学館主催事業

・ 青少年科学館 天文普及事業

実施事業	令和５年度		令和６年度	
	開催回数	参加者	開催回数	参加者
市民天体観望会	3 回	47 人	3 回	76 人
移動天体観望会	1 回	43 人	－	－
天文現象観望会	－	－	－	－
プラネタリウム・デジタル映像学習投影	21 回	405 人	21 回	490 人

・ 青少年科学館 サイエンススクール事業

実施事業	令和５年度		令和６年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
オープンラボ	6 回	203 人	6 回	152 人
サイエンスショー	1 回	89 人	2 回	67 人
わくわくサイエンス	4 回	63 人	4 回	68 人
サマースクール	1 回	11 人	1 回	6 人
キッズチャレンジ	3 回	26 人	－	－
冬休み自由研究	2 回	19 人	1 回	21 人
大人のためのサイエンス工房	3 回	16 人	3 回	8 人
ちょこっとラボ	7 回	111 人	6 回	99 人
水族館・科学館まつり	1 回	518 人	1 回	497 人
サイエンスクラブ	10 回	30 人	5 回	8 人

・ 青少年科学館 プラネタリウム事業

実施事業	入場者数	
	令和５年度	令和６年度
プラネタリウム一般投影	1,084 人	704 人
「南極の夜空オーロラ」投影	171 人	383 人
「季節の星座」投影	－	604 人
デジタル映像番組上映	4,795 人	5,109 人

・ 青少年科学館 科学普及事業

実施事業	実施日	入館者数
古川宇宙飛行士ミッション報告会 パブリックビューイング	6 月 23 日（日）	8 人

○ 青少年科学館管理運営事業

・ 青少年科学館入館者数

	令和５年度	令和６年度
入館者数	41,016 人	45,224 人
うち年間パスポート利用者数	延べ 2,148 人	延べ 2,366 人

○ 青少年科学館開館 50 周年記念事業 ※新規

・ 令和６年７月に、青少年科学館が開館 50 年を迎えたことから、記念のセレモニーやパネル展の他、講演会や特別サイエンス講座、デジタル映像番組の特別上映など、科学への興味や関心を促すための事業を行った。

区分	内容及び開催日等	参加(観覧)者数
パネル展	「南極パネル展」 ・市職員が南極地域観測隊員として参加した際に撮影した南極の貴重な写真の展示 ・4 月 27 日～11 月 30 日 「稚内市青少年科学館 50 周年展」 ・開館当時の写真や資料の展示 ・令和６年８月１日～令和７年３月 31 日	期間内観覧者数 39,984 人 期間内観覧者数 27,603 人
記念講演会	国立極地研究所副所長による南極での活動や研究内容、地球環境の変化や影響に関する講演 ・8 月 4 日「南極から見た地球環境」	40 人
特別サイエンス講座	育英館大学助教による、デジタル技術に係るサイエンス講座(全４回) ・7 月 21 日　はじめてのプログラミング「マイクロビット」であそぼう ・7 月 28 日　はじめての電子工作「アルディーノ」であそぼう ・8 月 7 日　おもしろコマ撮りアニメに挑戦 ・8 月 9 日　プロジェクションマッピングに挑戦	 17 人 15 人 10 人 3 人
デジタル映像番組の上映	・デジタル映像システムを介した番組「ポラリス」の上映 ・令和６年７月７日～令和７年７月６日	観覧者数(令和６年７月７日～令和７年３月 31 日)1,817 人

○ 少年自然の家維持管理事業

・ 少年自然の家利用者数

		令和５年度	令和６年度
利用者数		7,812 人	8,589 人
内訳	宿泊者数	5,801 人	6,419 人
	日帰り者数	2,011 人	2,170 人

〔利用別内訳〕

	令和５年度	令和６年度
学校利用	200 団体　4,879 人	234 団体　4,867 人
社会教育団体利用	98 団体　1,961 人	150 団体　2,763 人
その他利用	34 団体　　972 人	52 団体　　959 人

・ 少年自然の家主催事業

実施事業	令和５年度		令和６年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
自然クラブ（日帰り及び宿泊）	７回	213 人	７回	172 人
わんぱくチャレンジ（日帰り及び宿泊）	６回	163 人	７回	173 人
わくわく土曜日（日帰り）	２回	38 人	２回	41 人
本気で自然体験（日帰り及び宿泊）	３回	58 人	１回	16 人

・ その他、少年自然の家の活動

	令和５年度	令和６年度
各学童保育所の受入れ	５団体/延べ 300 人	４団体／延べ 242 人
スポーツ合宿の受入れ	17 団体／延べ 1,967 人	23 団体／延べ 2,112 人

○　水族館水族飼育事業、水族館施設維持管理事業

・ 水族館入館者数

	令和５年度	令和６年度
入館者数	41,016 人	45,224 人
うち年間パスポート利用者数	延べ 2,148 人	延べ 2,366 人

・ 水族館夏期開館時間の延長(科学館と共同実施)

開館時間を 18 時 30 分までとし、1 時間 30 分の延長を実施

実施期間　　令和６年８月 11 日（日）～8 月 16 日（金）

時間延長による入館者数　61 人（大人 51 人、小人 10 人）

・ 水族館飼育体験学習

ペンギン・アザラシの飼育、給餌体験を通した動物とのふれあい

体験校８校、生徒数 18 人（昨年度８校、22 人）

・ オープン企画展

	実施期間	入館者数
あれ？あいつどこいっ展	令和６年４月 27 日（土） ～5 月 31 日（金）	7,050 人 （大人 5,202 人、小人 1,848 人）

・ 夏期企画展

	実施期間
カニ釣り体験	令和6年7月20日(土)～9月1日(日)

【生涯スポーツの推進】 〈181・183ページ〉

○ 日本最北端わっかない平和マラソン開催費補助事業

〔開催日　令和6年9月8日(日)〕

区分	令和5年度		令和6年度	
	エントリー	完走者	エントリー	完走者
フルマラソンの部	727人	578人	784人	636人
8kmの部	132人	110人	154人	138人
5kmの部	96人	82人	94人	77人
2kmの部	186人	162人	167人	150人
親子ペア(2kmの部)	35ペア	31ペア	38ペア	32ペア
合計	1,211人	994人	1,275人	1,065人

○ 健康体力づくり推進事業

実施事業	参加者数等
体力づくり強調月間事業 (年齢別体力測定事業)	開催回数1回、参加者数8人 (昨年度1回、15人)
ニュースポーツの普及・啓発	・ 新体力テスト　4か所、937人 ・ ニュースポーツ用具の貸出216件
ウォーキング事業	・ 歩こう会　開催回数6回(うち、2回中止)、参加者数86人 ・ JR歩こう会　21人 ・ 大歩こう会　中止

○ スポーツ大会補助事業

補助金の名称	大会名
スポーツ全国大会出場補助金	・ 第58回全国道場少年剣道大会 ・ 第48回全国道場小・中学生剣道選手権大会 ・ 第43回JSBA全日本スノーボード選手権大会 ・ 第33回全国小学生バドミントン選手権大会 ・ 第17回日本高校ダンス部選手権スーパーカップDANCE STADIUM ・ 第5回日本ミックスカーリング選手権大会

補助金の名称	大会名
スポーツ大会開催補助金	・第 77 回北海道高等学校サッカー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会 第13回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会 ・第 54 回北海道中学校卓球大会 ・高松宮賜杯第 68 回全日本軟式野球大会(2 部) 北・北海道大会 ・イエスタ杯第 44 回北海道小学生バレーボール道北大会 ・北海道カーリングツアー稚内みどり CHALLENGE CUP2024 ・第 5 回日本ミックスカーリング選手権大会 ・第 18 回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会

○ 市民スポーツ活動促進事業

実施事業	事業実績
各種市民スポーツ活動促進事業	・ジュニアスポーツ教室 10 教室、登録者数 219 人 ・親子スポーツ教室 9 組
スポーツ教室の開設	・種目別スポーツ教室 4 種目 6 教室、受講者 62 人 ・チャレンジスポーツクラブ 30 人
スポーツ講習会の実施	・剣道講習会 受講者 98 人
市民皆スポーツの推進	・市民参加型競技大会実施奨励と助成 13 団体
指導者育成事業	・公認指導者の資質向上を図るための「スポーツ指導者研修会」 受講者 36 人 ・公認指導資格取得及び資格更新講習会の参加交通費助成 新規講習 5 人、更新講習 6 人
体育施設利用促進事業	・トレーニング機器の有効活用とトレーニング知識の習得のための「トレーニングセミナー」 受講者 46 人
表彰事業	・部門別功績賞(1 人)、スポーツ奨励賞(1 人)、功労賞(5 人)及び功績賞(4 人)、有功賞(2 団体、2 人)を表彰
競技力向上事業	・全道レベルの強化事業及び研修事業参加助成 4 団体、5 事業 ・外部指導者招聘及び協会内部指導者等による研修事業開催助成 15 団体、38 事業 ・加盟団体主催強化事業助成 3 団体
競技力向上講習会	・5 種目 延べ 369 人 (内訳) 杖道講習会 延べ 14 人 柔道講習会 延べ 80 人 バスケットボール講習会 延べ 185 人 サッカー講習会 延べ 60 人 スノーボード講習会 延べ 30 人

○ 総合型地域スポーツクラブ補助事業

補助金の名称	内容
総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金	稚内市スポーツ推進中期計画に定めるスポーツを通じた共生社会の推進を図るため、総合型地域スポーツクラブの設立を目的とする団体又は総合型地域スポーツクラブに対し助成を行う。 令和６年度実績 ： １団体

○ スポーツ施設整備及び維持管理事業

・ 整備工事

施設名	内容
総合体育館	総合体育館蒸気管補修工事
温水プール水夢館	屋根応急工事、ベビールーム設置工事
大沼球場	大沼球場高圧受電設備更新工事
富士見球技場	富士見球技場整備工事(フェンス設置工事)
みどりスポーツパーク	剣道場床改修工事
こまどりスキー場	こまどりスキー場第２ペアリフト制御盤交換工事

・ スポーツ施設利用状況

施 設 名	利用者数	
	令和５年度	令和６年度
総合体育館	40,399 人	42,271 人
市体育館	13,763 人	11,922 人
緑体育館	14,418 人	17,099 人
野球場（大沼球場、市営球場、若葉球場）	12,033 人	12,567 人
球技場（富士見球技場、若葉球技場）	7,310 人	8,421 人
ノシャップソフトボール場	365 人	0 人
庭球場（緑庭球場）	4,360 人	4,472 人
スキー場（こまどり・上勇知各スキー場）	12,492 人	11,245 人
パークゴルフ場（こまどり・ノシャップ公園各パークゴルフ場）	16,692 人	13,159 人
坂の下海水浴場	479 人	451 人
学校体育館開放 （中央小、南小、東小、潮見が丘小、港小、東中）	16,520 人	18,252 人
みどりスポーツパーク	47,337 人	60,062 人
水泳プール（沼川、水夢館） （うち温水プール水夢館）	63,727 人 （63,482 人）	69,126 人 （69,126 人）

【芸術・文化活動の環境づくり】　〈175・179 ページ〉

○ 親子ふれあい映画鑑賞事業

・ 親子をはじめとする家族や友人と映画を鑑賞し、感動や楽しみを共有することで会話や交流の促進を図り、家族・友人間の絆を深めるとともに、優れた芸術・文化としての映画に触れることで教養を高めることを目的とし、小中学生には無料映画鑑賞券、その保護者(長子保護者)には鑑賞補助券を配布した。

〔令和 6 年度実績〕 対象者 ： 小中学生 1,946 人、保護者(長子保護者)1,604 人

利用者(率) ： 小中学生 1,370 人(70.40%)、保護者 811 人(50.56%)

○ 稚内市文化振興育成補助事業

・ 文化事業の実施を促すとともに優秀な青少年の活躍を奨励し、文化振興促進に資することを目的として、市内の 30 歳までの男女及び青少年が所属する文化団体に対し、補助金を交付した。

〔令和 6 年度実績〕 補助実績:5 団体(指導者招へい事業)

○ 稚内市文化協会運営費補助事業

・ 稚内市の文化団体の連絡機関として、その親睦を図り、団体相互の協力により、会員の資質の向上および研鑽に努め、合わせて文化活動の推進及び文化振興に寄与することを目的とし、補助金を交付した。

〔令和 6 年度実績〕

稚内市民文化祭　13 団体参加

稚内市総合芸能祭　15 団体出演

その他、文芸そうや刊行、名士カラオケ歌謡祭の開催等

・ 様々な舞台芸術の鑑賞機会や体験機会を確保提供し、芸術文化への理解と文化芸術活動の普及促進を図ることを目的として活動している文化事業振興協議会が行う事業への補助金を交付した。

〔令和 6 年度実績〕

尾崎裕哉 with 宮本貴奈~The North Circuit Duo Tour 2024-2025~　418 人

落語寄席 in わっかない　151 人

宝くじまちの音楽会　南こうせつ with ウー・ファン～心のうたコンサート　740 人

○ 総合文化センター維持管理事業

	工事内容
総合文化センター整備工事	高圧設備改修工事、LED化整備工事(外灯)

【自然・歴史・産業などを学ぶことによる郷土観の確立】　〈175・179 ページ〉

○ 旧瀬戸邸維持管理事業

・ 旧瀬戸邸入館者数 2,734 人(昨年度 3,489 人)

・ 主催・共催事業の開催

実施事業	実施内容	主催団体	実施日
七夕のお茶会・琴演奏会	市内団体と連携したワークショップ等の開催	稚内和服でおもてなし実行委員会	令和 6 年 7 月 7 日(日)
二胡と重陽の夕べ			令和 6 年 10 月 11 日(金)
節分茶会			令和 7 年 2 月 3 日(月)
桃の節句のお茶会			令和 7 年 3 月 2 日(日)
旧瀬戸邸無料開館「二十歳のための旧瀬戸邸写真館」	「稚内市二十歳の集い」開催に伴い、記念撮影場所として無料開放	―	令和 7 年 1 月 12 日(日)

○ 樺太記念館維持管理事業

・ 樺太記念館入館者数　18,491 人(昨年度 18,463 人)

・ 講座、特別展の開催

実施事業	実施日
企画展Ⅰ「斉藤マサヨシ写真展 利尻富士百景 2024」	令和 6 年 8 月 10 日(土)～令和 6 年 9 月 30 日(月)
企画展Ⅱ「パネル展 サロベツの自然との関わり」	令和 7 年 2 月 28 日(金)～令和 7 年 3 月 30 日(日)

・ 企画展と連携した解説講座(ミュージアムトーク)の実施

令和 6 年 9 月 14 日(土) 講師 ： 斉藤マサヨシ

令和 7 年 3 月 8 日(土)　講師 ： 疋田英子

○ 北方記念館管理事業

・ 北方記念館入館者数 16,187 人(昨年度 14,429 人)

・ 企画展の開催

企画展	実施日
①北方記念館ミニ企画展「稚内の鉄路-天北線の記憶-」	令和 6 年 4 月 27 日(土)～5 月 26 日(日)
②宗谷管内巡回展「宗谷地方の自然公園」	令和 6 年 6 月 26 日(水)～7 月 21 日(日)

○ 稚内市歴史的建造物保全活動支援事業

・「旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所(赤れんが通信所)」の保存・普及に取り組む稚内市歴史・まち研究会に対して支援を行った。

(3) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

【妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実】〈121・123・125・127 ページ〉

○ ファミリーサポートセンター事業

・ 会員同士が子育ての相互援助活動を行う組織

区　　分	令和５年度	令和６年度
お願い会員(依頼会員)	108 人	111 人
まかせて会員(提供会員)	34 人	31 人
両方会員	13 人	12 人
合　計	155 人	154 人

〔利用実績〕

区　　分	令和５年度	令和６年度
年間延べ利用件数	141 件	75 件

○ 子育てのための施設等利用給付費支給事業

	令和 5 年度		令和 6 年度	
	認可	認可外	認可	認可外
年間延べ登録者数	1,287 人	76 人	1,167 人	84 人
年間延べ利用者数	987 人	76 人	976 人	84 人
年間延べ利用件数	10,209 件	76 件	10,976 件	84 件
年間延べ支給額	3,275,245 円	2,589,100 円	3,571,800 円	2,775,425 円

○ 児童家庭相談援助事業

・ 要保護児童対策地域協議会の開催

	令和５年度	令和６年度
個別ケース検討会議	20 回	19 回

・ 家庭児童相談員を配置し、家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、相談及び指導を行った。

〔相談件数〕

相談内容	令和５年度	令和６年度
養護相談(児童虐待含む)	63 件	60 件
障がい相談	2 件	0 件
非行相談	1 件	0 件
育成相談	3 件	5 件
その他相談	6 件	7 件
合　計	75 件	72 件

○ 母子家庭等自立支援事業

・ 母子・父子自立支援員を配置し、母子家庭等の自立支援及び相談にあたった。

〔相談件数〕

相談内容	令和５年度	令和６年度
生活一般（医療など）	15 件	6 件
児童（養育・就職など）	1 件	0 件
経済的支援・生活援護	54 件	51 件
合　計	70 件	57 件

○ ひとり親家庭等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
母及び父、三親等	251 人	24 件	3,594 件
児童	373 人	33 件	3,991 件

○ 乳幼児等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
小学校就学前	833 人	238 件	12,740 件
小学生	1,004 人	61 件	11,840 件
中学生	516 人	27 件	4,994 件
高校生	531 人	38 件	5,173 件

○ 保育所保護者負担助成事業

・ 子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、子どもが 2 人以上いる家庭を対象に保育料の一部を助成した。

助成児童数　延べ 56 人（昨年度 延べ 71 人）

助成金額　5,527,015 円（昨年度 7,238,965 円）

○ 出産・子育て応援事業

・ 妊娠・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るため給付金を支給した。

〔給付実績〕

区分	令和５年度	令和６年度
出産応援給付金	133 人	127 人
子育て応援給付金	138 人	119 人

○ 児童手当支給事業

【旧児童手当（令和６年９月まで）】

区　　分		３歳未満	３歳～小学校修了前	中学生
児童手当	被用者	1,785 人	8,926 人	3,473 人
	非被用者	469 人	1,970 人	747 人
特例給付		104 人	479 人	163 人
合　　計		2,358 人	11,375 人	4,383 人

【制度改正後（令和６年 10 月以降）】

区　　分	３歳未満	３歳～小学校修了前	中学生	高校生
被用者	878 人	4,865 人	1,856 人	1938 人
非被用者	272 人	1,387 人	477 人	479 人
合　　計	1,150 人	6,252 人	2,333 人	2,417 人

○ 児童扶養手当支給事業

・ 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立促進のために支給した。

区　　分	令和５年度	令和６年度
全部支給者	1,344 人	1,305 人
一部停止者	1,517 人	1,367 人
２子加算	1,072 人	1,062 人
３子以降加算	256 人	161 人
合　　計	4,189 人	3,895 人

○ 早期療育通園センター管理運営事業

・ 運動、知的、言語等の発達に遅れや障がい等があると思われる幼児等及びその家族に対して、児童福祉法に基づく児童発達支援（就学前児童）及び放課後等デイサービス（就学児童）としての指導及び相談を実施した。

〔利用実績〕

令和５年度		令和６年度	
延べ利用人数	うち他町村	延べ利用人数	うち他町村
2,147 人	296 人	2,382 人	184 人

○ 保育所管理運営事業

〔児童数〕 令和６年５月１日時点

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計	定 員
白樺保育所	5人	14人	11人	10人	16人	13人	69人	100人
（公立保育所 計）	5人	14人	11人	10人	16人	13人	69人	100人
認定こども園 稚内鈴蘭保育園	5人	12人	12人	17人	14人	16人	76人	75人
富岡保育園	3人	8人	9人	12人	14人	13人	59人	60人
もぐもぐ保育園	－	－	5人	4人	8人	6人	23人	30人
オアシス保育園	2人	13人	10人	9人	10人	10人	54人	60人
きらきら保育園	5人	10人	10人	14人	11人	11人	61人	60人
（私立保育所 計）	15人	43人	46人	56人	57人	56人	273人	285人
（市内保育所 計）	20人	57人	57人	66人	73人	69人	342人	385人
沼川保育所	－	－	1人	0人	0人	1人	2人	50人
勇知保育所	－	－	1人	2人	2人	3人	8人	30人
恵北保育所(R5廃止)	－	－	－	－	－	－	－	－
宗谷保育所	－	－	－	11人	15人	11人	37人	60人
（へき地保育所 計）	－	－	2人	13人	17人	15人	47人	140人
豊富保育園	－	－	0人	2人	1人	0人	3人	120人
（広域利用 計）	－	－	0人	2人	1人	0人	3人	120人
合 計	20人	57人	59人	81人	91人	84人	392人	645人

○ 子どものための保育給付費支給事業

・ 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの保育に要した費用を特定保育施設へ支弁した。

〔支給対象人員〕

	乳児	1～2歳児	3歳児	4歳以上児	合 計
保育所(2号)	－	－	658人	1,360人	2,018人
保育所(3号)	232人	1,103人	－	－	1,335人
合計	232人	1,103人	658人	1,360人	3,353人

※ 2号認定 ： 満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

※ 3号認定 ： 満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

○ 病児保育事業

〔利用状況〕

	令和5年度	令和6年度
登録者数	37人	75人
利用人数	8人	21人

○ 特定保育施設給食費助成事業　※新規

・ 特定保育施設に通う児童の食事の提供に要する費用の一部を助成した。

令和６年度 3,033 件 7,911,300 円

○ 養育医療給付事業

・ 養育のため入院が必要な未熟児に対して、医療費の一部を給付した。

年度	令和５年度	令和６年度
給付実績	６人	４人

○ 妊産婦健康支援事業、不妊治療費助成事業

事　業　内　容	区　分	令和５年度	令和６年度
マタニティ教室	実施回数	15 回	15 回
	受講者数	64 人	56 人
妊婦健康診査	受診件数	2,221 件	2,269 件
産婦健康診査	受診件数	217 件	220 件
不妊治療費助成事業	助成人数	６人	15 人

※「特定不妊治療費助成事業」は令和５年度から「不妊治療費助成事業」として実施

○ 保育所等冷房設備導入支援事業 ※新規

・ 私立保育園及び認可外保育所に対し、保育室等に設置する冷房設備の導入及び設置に要する費用に補助金を交付した。

令和６年度 ６件 6,157,000 円

○ 乳幼児健診・相談事業、乳幼児歯科健診事業

事　業　内　容		区　分	令和５年度	令和６年度
乳幼児健康診査等	3～4か月児 健康診査	健診回数	12 回	12 回
		受診者数	135 人	116 人
	7～8か月児 健康相談	相談回数	12 回	10 回
		受診者数	140 人	111 人
	1歳児 健康相談	相談回数	12 回	12 回
		受診者数	143 人	124 人
	1歳6か月児 健康診査	健診回数	12 回	9 回
		受診者数	167 人	135 人
	3歳児 健康診査	健診回数	12 回	10 回
		受診者数	168 人	157 人
	1か月健康診査支援事業 ※新規	受診者数		91 人
股関節脱臼検診		検診回数	12 回	10 回
		受診者数	136 人	107 人

事　業　内　容	区　分	令和５年度	令和６年度
母子訪問	実 施 者 数	522 人	437 人
フッ化物塗布事業	実 施 回 数	31 回	25 回
	実 施 者 数	661 人	603 人
サホライド塗布事業	実 施 回 数	31 回	25 回

【子育て環境の充実】　〈121・125 ページ〉

○　子育て世代包括支援センター運営事業

・ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供することを目的とし、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じた。

〔年間延べ相談件数〕

区分	令和５年度	令和６年度
妊婦	679 件	698 件
産婦	419 件	461 件
乳児	992 件	818 件
幼児	948 件	545 件
学童	20 件	12 件
思春期	4 件	12 件
合　計	3,062 件	2,546 件

・ 産後ケア事業、産前・産後サポート事業、こんにちは赤ちゃん事業、養育支援訪問事業

事業内容	区分	令和５年度	令和６年度
産後ケア事業	利 用 人 数	9 人	2 人
産前・産後サポート事業 （にこにこ赤ちゃん・もぐもぐ赤ちゃん教室）	実 施 回 数 受 講 者 数	12 回 60 人	12 回 48 人
こんにちは赤ちゃん事業	家庭訪問数	91 人	85 人
養育支援訪問事業	訪 問 件 数	54 件	44 件

・ 子育て応援サイト・アプリ　え～る

〔利用状況〕

	令和５年度	令和６年度
Web サイトアクセス数	56,825 件	59,233 件
アプリユーザー数（延べ）	819 人	899 人

○ 地域子育て支援事業

年 度	箇所数	交流の場利用者数		相談件数	情報提供件数
		子ども	保護者		
令和５年度	３か所	5,879 人	4,641 人	296 件	2,758 件
令和６年度	３か所	5,378 人	4,597 人	370 件	2,735 件

○ 児童館管理運営事業

・ 児童館活動、「子ども通貨タラ」事業

〔利用状況 （※その他利用を除く）〕

	令和５年度	令和６年度
中央児童会館	3,221 人	3,776 人
東児童館	6,612 人	6,577 人
富岡児童センター	3,143 人	5,750 人
港ふれあいセンター	1,645 人	3,270 人
南児童館	8,839 人	10,875 人
合 計	23,460 人	30,248 人

※令和６年４月から中央児童館は中央児童会館へ変更

○ 学童保育所管理運営事業

〔利用状況 （年間平均登録児童数）〕

名称 （定員）		令和５年度	令和６年度
中央学童保育所	(35)	14 人	13 人
緑学童保育所	(60)	71 人	64 人
東学童保育所	(35)	52 人	57 人
富岡学童保育所	(65)	38 人	33 人
合 計		175 人	167 人

○ 放課後子ども教室推進事業

〔利用状況〕

	令和５年度	令和６年度
声問小放課後子ども教室	1,308 人	1,159 人
増幌小放課後子どもふれあい教室	休止	－

※ 増幌小放課後子どもふれあい教室については、令和６年３月末をもって廃止

【地域の中で子どもを見守り育てる社会の形成】　〈173 ページ〉

○　子育て推進事業

・ 子育ての日事業

開催日等　令和 6 年 4 月 27 日（土）　稚内総合文化センター

来館者数　1,000 人（昨年度　1,200 人）

・ 子育て平和の日記念式典の開催

開催日等　令和 6 年 9 月 1 日（日）　宗谷岬公園

出席者数　150 人（昨年度 200 人）

・ 平和折り鶴祭の開催

開催期間　令和 6 年 7 月 31 日（水）～9 月 11 日（水）

展示場所　中央商店街アーケード、市庁舎、市立図書館、キタカラ

展 示 数　155,000 羽

・ 平和学習の充実（平和学習資料の配布、稚内市子ども会議の開催　ほか）

・ 子育て意識啓発（稚内市教育講演会、全市子育て運動交流研修会の開催）

○　稚内市子ども安全育成センター運営事業

・ 街頭育成補導活動

定例、特別街頭育成補導の実施（年 25 回　59 人参加）、専任育成員による街頭育成補導活動

・「校外生活のめあて」配布（配布数　市内小中高校生　2,504 人）

・ 非行防止ポスター、標語の募集　（ポスター　54 点、標語　191 点）

・ 有害環境の浄化（有害図書類取扱店立入調査　ほか）

・ スクールガードボランティア登録数　市内 6 地区 375 人（令和 7 年 3 月 31 日時点）

・ 安全・安心マップ配布　市内小学校　241 枚　（新 1 年生 226 枚、学校用 15 枚）

安らぎの空間に笑顔あふれる“基盤づくり”

(1) 時代に適応した公共交通・都市間交通の整備

【持続可能な地域公共交通の確保】 〈97・105 ページ〉

○ 市内生活交通路線維持事業
・ 3 路線(富士見線・坂の下線・声問線) 利用者数 259,385 人(昨年度 255,318 人)

○ 稚内市地域公共交通活性化協議会補助事業
・ 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシーの運行 利用者数 6,817 人(昨年度 7,505 人)
・乗合タクシーに係る簡易アンケート調査の実施(令和 6 年 6～7 月実施)
対象者 天北地区、恵北地区、増幌地区の住民約 300 世帯 回答数 66 回答率 22%
・抜海・クトネベツ地区実証運行・試験運行
実証運行 期間 令和 6 年 8 月～9 月、料金 無料、運行回数 49 回、利用者数 72 人、
平均乗車人数 1.47 人、運行率 11.5%
試験運行 期間 令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月、料金 無料、運行回数 170 回、利用者数 224 人、
平均乗車人数 1.32 人、運行率 13.3%
・バスの乗り方教室(令和 6 年 11 月 16 日開催)
会場 富岡・はまなす活動拠点センター 参加者 23 人
・ 稚内市地域公共交通活性化協議会の開催 4 回

○ 天北線生活交通路線維持事業
・ 天北宗谷岬線 利用者数 52,996 人

【交通基盤整備の推進】 〈97 ページ〉

○ 宗谷本線活性化推進事業

実施事業	事業内容	実施日・参加人数等
観光列車「花たびそうや」号へのおもてなし	・ ゆるキャラ、横断幕によるお出迎え、お見送り ・ ノベルティの配布 ・ 歓迎パネル及び稚内ブランドPRパネル ・ 稚内市民観光ボランティアガイドによるアナウンス	令和 6 年 5 月 11 日(土)～6 月 2 日(日)の間の土日(計 8 回)
抜海駅・勇知駅 100 周年記念カードの作成・配布	抜海駅、勇知駅 100 周年記念として、ステーションカードを作成・配布	令和6年6月22日(土)～令和7年3月31日(月)
「THE ROYAL EXPRESS」へのおもてなし	・ ゆるキャラ、横断幕によるお出迎え、お見送り ・ ノベルティの配布 ・ 列車内での観光、稚内ブランドのPR ・ 南中ソーラン披露 ・ 稚内港北防波堤ドームライトアップ	令和6年9月14日(土)～9月29日(日)の間の土日(計6回)

実施事業	事業内容	実施日・参加人数等
ちょい旅ウォーキング	駅長の講話を聴き、その後、稚内駅から豊富駅までJRを利用し、豊富駅から豊富温泉までウォーキングを実施。	令和6年10月6日（日）
宗谷本線利用促進キャンペーンの実施	旭川駅において、沿線市町村等による宗谷本線利用促進キャンペーンを実施（観光パンフレット、ノベルティの配布、ゆるキャラによるPR等）	令和7年2月10日（月）

○　抜海駅維持管理事業

・ 駅舎等の点検・修繕に係る費用や除雪作業に係る費用等、抜海駅の維持管理に必要な費用を負担した。

（2）安全・安心な都市基盤の整備と安らぎと笑顔が見える空間の創出

【維持管理と改築更新の計画的な実施】　〈153・155・159 ページ〉

○　道路ストック整備事業（社会資本整備総合交付金事業）

・ 市内幹線道路舗装整備工事

声問更喜苫内線（L=52m）

こまどり 1 号通（L=80m）

○　道路・河川大雨対策事業

・ 管路浚渫業務委託（チララウスナイ川、恵北水路、はまなす 5 号通）

・ 河川監視カメラ維持管理（チララウスナイ川、シュルコマナイ川）

○　副港通道路整備事業（社会資本整備総合交付金事業）

・ 副港通道路整備工事（L=115m）

○　単独地方道路整備事業

・ クサンル川護岸整備工事（L=12m）

・ こまどり 17 号通側溝整備工事（L=57m）

・ 朝日 9 条通側溝整備工事（L=50m）

・ 恵比須 3 条側溝整備工事（L=40m）

・ 大黒 6 号通側溝整備工事（L＝99m）

・ 緑・富岡環状線側溝整備工事（L＝58m）

○ 橋梁長寿命化整備事業（道路メンテナンス補助事業）

・ 橋梁長寿命化補修工事

小松橋補修工事（支承部・コンクリート補修一式）

天興1号橋補修工事（伸縮継手補修一式）

サラキトマナイ9号橋補修工事（鋼橋製作設置一式）

・ 橋梁定期点検業務負担金　点検数 34 橋

○ 緑・富岡環状通街路整備事業（社会資本整備総合交付金事業）

・ 緑・富岡環状通街路整備工事（L=75m）

○ 稚内港ふ頭保安管理事業

・ 中央ふ頭、末広ふ頭、天北1号ふ頭、天北2号ふ頭の SOLAS 条約による制限区域内の 24 時間体制警備

○ 稚内港改修国直轄事業〔総事業費 385,000,000 円（うち、市負担金 57,965,925 円）〕

事　業　箇　所	事　業　概　要
北地区	護岸（防波）（北）（改良） 一式

○ 宗谷港改修国直轄事業〔総事業費 132,000,000 円（うち、市負担金 43,819,608 円）〕

事　業　箇　所	事　業　概　要
本港地区	物揚場（-2.5m）（西船溜）一式

○ 稚内港改修国庫補助事業（社会資本整備総合交付金事業）

事　業　箇　所	事　業　概　要
港地区	物揚場撤去 L=57m、防舷材設置 N=8 箇所 道路改良 L=115m

○ 稚内港改修単独事業

事　業　箇　所	事　業　概　要
港地区	第一副港船揚場浚渫　一式

○ 海岸保全国庫補助事業

事　業　箇　所	事　業　概　要
潮見地区	護岸整備 L=70m
ノシャップ地区	護岸整備 L=25m

【安全・安心な住環境の確保】　〈103・153・155・157・159 ページ〉

○ 地域情報通信基盤維持管理事業

・ ブロードバンド未整備地区での高速インターネット利用環境実現のために整備した光ケーブル等設備の維持管理を行った。

【整備対象地区】

声問地区、西浜地区、恵北地区、樺岡地区、沼川地区、曲渕地区、川西地区、川南地区、開進地区、豊別地区、上声問地区、更喜苫内地区、天興地区、曙地区、抜海地区、クトネベツ地区、勇知地区、オネトマナイ地区、富士見地区、宗谷地区、増幌地区、清浜地区、富磯地区、宗谷岬地区、東浦地区市街地一部

整備地域世帯数	加入数(令和 6 年度)	総延長距離数
2,938 件	1,479 件(加入率 50.3%)	234 ㎞

・総務省のガイドラインに則り、通信事業者へ本設備を譲渡することにより、災害時における柔軟かつ迅速な復旧対応及び効率的な整備・運営が図られることに加え、整備後 10 年以上が経過し、維持管理等に係る人的及び財政的負担が軽減されることから、令和 7 年 4 月 1 日付けで通信事業者へ譲渡した。

【譲渡先】

北海道札幌市中央区大通西 14 丁目 7 番地
東日本電信電話株式会社
執行役員　北海道事業部長　島津　泰

【譲渡した財産】

名称	数量	単位
光ケーブル	242,274.4	m
つり線	6,560.0	m
クロージャ	1,068	個
電柱	1,441	本
支柱	88	本
支線	314	条
管路	4,747.7	m
局舎施設(IP-BOX)	7	式
光成端架(IDM)	7	式

○ 街路灯管理事業

・ 街路灯設置助成金【防犯灯】 42 基

各町内会に設置費の 2/3 以内を助成
申請町内会件数　16 町内会

・ 街路灯電気料助成金【防犯灯】 3,593 灯

各町内会に電気料の 8/10 以内を助成
申請町内会件数　63 町内会

○　都市公園等維持管理運営事業

・公園維持補修

ちびっこ広場維持補修、市内各公園施設維持補修

・公園維持管理

指定管理者制度を活用した維持管理（都市公園 19 箇所、その他 2 箇所）

○　街区公園等整備事業

・遊戯施設等改築工事（宝来公園、白樺公園、ひばりヶ丘公園、ノシャップ公園、青葉公園、天北緑地、富岡かばのき公園、港公園）

○　市営住宅個別改善事業（社会資本整備総合交付金事業）

・長寿命化に関する実施設計（配管改修）

末広団地（1 棟 16 戸）

・長寿命化に関する工事

配管・建具　末広団地（1 棟 16 戸）　屋根・外壁改修　緑ヶ丘団地（1 棟 24 戸）

○　空き家対策事業

・老朽危険空き家除却費補助金実績　　2 件　1,000,000 円（昨年度　3 件　1,500,000 円）

・行政代執行（管理不全空き家の除却）　1 件　6,259,000 円

○　稚内港維持管理事業

・公共灯 LED 化整備工事【港湾空港課管理分】81 基

稚内港、宗谷港

整備数（累計）　449 灯/646 灯

LED 化率（累計）　69.5％

○　浄水場等整備事業

・北海道生活基盤施設耐震化等事業（道補助事業）

基幹水道構造物の耐震化事業（萩ヶ丘浄水場第 3 配水池耐震補強工事）

・萩ヶ丘浄水場機械設備更新工事

・萩ヶ丘浄水場中央監視装置更新工事

○　導水・配水施設整備事業

・北海道生活基盤施設耐震化等事業（道補助事業）

老朽管更新事業（旧導水管撤去）　L=149m

重要給水施設配水管事業

（中央地区配水管布設替工事 L=70m、緑送水管布設替工事 L=97m）

・声問海浜通線送水管布設替工事　L=95m

・稚内はまなす線配水管布設替工事　L=203m

・萩見 2 号通配水管布設替工事　L=156m

○ 雨水管渠整備事業

・ 中部第９排水区雨水管渠布設工事（ボックスカルバート 800 mm×800 mm～1,100 mm×500 mm、L＝92m）

○ 水洗化普及促進事業

・ 合併処理浄化槽設置助成金実績 ７件 4,800,000 円 （昨年度 ８件 6,450,000 円）

※ 水洗化率 94.9％

【中心市街地の再生】 〈95・147 ページ〉

○ 庁舎整備事業

年度	事業内容
令和元～2 年度	庁舎整備基本構想・基本計画策定業務委託
令和 3～4 年度	庁舎建設基本・実施設計業務委託
令和 5 年度～	庁舎建設工事

○ 地域交流センター管理運営事業

・ 利用状況 全体利用者数 960,840 人 （昨年度 903,190 人）

アトリウム・市民活動室利用団体数 232 団体 （昨年度 242 団体）

中心市街地活性化事業（自主事業） 18 回実施 （昨年度 18 回実施）

(3) 緊急時に備えた地域防災力の強化

【地域防災力の強化】 〈107 ページ〉

○ 自主防災組織育成事業

・ 令和７年３月 31 日現在の自主防災組織結成数

大黒三、大黒二、白樺、潮見第二、ひばり、声問、こまどり、緑ヶ丘、北四、ひかり、さくらヶ丘、南四、仲好、緑第二、末広、緑一、今恵、朝日、南三、南二、宗谷岬、港五、曲渕

合計 23 団体（令和６年度は３団体（宗谷岬、港五、曲渕）が新規に結成）

・「地域ごとの避難計画」作成支援

災害が発生した際、地域住民が安全に避難できるための計画である「地域ごとの避難計画」の作成を支援

令和７年３月 31 日現在の地域ごとの避難計画作成町内会数

抜海、西浜、豊浜、富士見、今恵、白樺、末広、声問、大黒二、潮見第二、宗谷岬、さくらヶ丘、曲渕、ひかり、こまどり

合計 15 町内会（令和６年度は５団体（宗谷岬、さくらヶ丘、曲渕、ひかり、こまどり）が新規に作成）

・ 防災啓発

防災講演等の開催 計 22 件（うち、防災講演 ８件、防災訓練 ４件、地域ごとの避難計画策定ワークショップ ４件、各種イベント会場での啓発活動６件）

・「一日防災学校」への支援

対応数 ： 13 校（稚内中学校、稚内中央小学校、潮見が丘中学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校、稚内南中学校、声問小学校、宗谷小学校、大岬小学校、富磯小学校、稚内港小学校、稚内東中学校、稚内南小学校）

内容 ： 防災講話、防災資機材の組立体験（段ボールベッド、ルームテント）、避難所開設演習 等

【災害時の迅速な情報収集と伝達手段の強化】 〈107 ページ〉

○ 防災情報収集・伝達事務

・ 防災情報メール配信サービス

登録者に対して災害情報や市民生活に関わる緊急のお知らせをメールで配信するもの。

〔配信情報〕

地震・津波・土砂災害等に関する気象情報、避難に関する情報、災害等に関連して発生した道路通行止め情報、小中学校休校情報、バス・タクシー・JR・フェリー・飛行機 運休情報等

〔登録件数〕 134 件（累計:7,229 件）

〔配信件数〕 77 件

内訳

気象警報関連	土砂災害関連	洪水警報関連	地震・津波関連	道路通行止め関連	公共交通機関関連	臨時休校・休館関連
14 件	0 件	0 件	1 件	31 件	9 件	1 件
避難関連	竜巻注意関連	停電関連	訓練・テスト関連	ヒグマ出没関連	その他	
0 件	3 件	0 件	0 件	18 件	0 件	

【災害の発生を想定した対応】 〈107 ページ〉

○ 災害対策事業

〔主な備蓄品の令和 7 年 3 月 31 日現在の備蓄数合計〕

・ 災害備蓄品

備 蓄 品	備蓄数	うち令和 6 年度購入
毛布	5,154 枚	―
コンパクトブランケット	5,040 枚	―
敷マット	200 枚	―
防災マット	5,550 枚	―
アルファ米（備蓄食糧）	6,250 食	1,100 食
飲料水（2ℓ）	2,076 本	330 本
簡易トイレ用袋	8,100 枚	1,000 枚
備蓄用トイレットペーパー	2,172 本	300 本

備　蓄　品	備蓄数	うち令和６年度購入
備蓄用生理用品	5,370 個	430 個
液体ミルク	24 本	24 本
カセットガスストーブ	300 台	－
カセットガスコンロ	50 台	－
カセットガスボンベ	576 本	75 本
コンパクト LED ライト	66 個	－
避難所用屋内テント	22 張	－
避難所用間仕切４部屋セット	44 セット	－
照明器具（投光器）	9 台	－
発電機 1.6kva	7 台	－
発電機 2.5kva	1 台	－
コードリール	8 台	－
ジェットヒーター	1 台	－
ペットケージ	8 個	－
ガソリン携行缶	8 個	－
フラットコード	8 本	－
段ボールベッド	186 台	－
手指消毒剤	160 本	－
医療用マスク(50 枚入)	877 個	－
フェイスシールド	110 枚	－
薬用泡ハンドソープ	168 本	－
ペーパータオル(200 枚入)	154 個	－
シューズカバー(100 枚入)	126 箱	－
使い捨て手袋(100 枚入)	882 箱	－
非接触型赤外線体温計	44 台	－
ウェットティッシュ(200 袋入)	56 箱	8 箱
防護服	110 着	－
トイレ用テント	88 個	－

・ 福祉避難所　備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち令和６年度購入
毛布	105 枚	－
飲料水（500ml）	4,416 本	1,056 本
アルファ米（備蓄食糧）	2,350 食	550 食
寝具一式	105 組	－
折畳みベッド	105 台	－
パーテーション	105 枚	－

・ 防災備蓄コンテナ（富士見、声問、東浦） 備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち令和６年度購入
毛布	300 枚（100 枚×3 箇所）	―
コンパクトブランケット	300 枚（100 枚×3 箇所）	―
アルファ米（備蓄食糧）	600 食（声問 300 食、富士見 200 食、東浦 100 食）	600 食
飲料水（2ℓ）	120 本（声問 66 本、富士見 42 本、東浦 12 本）	―
簡易トイレ用袋	700 枚（声問 400 枚、富士見 200 枚、東浦 100 枚）	―
備蓄用トイレットペーパー	1,080 本（360 本×3 箇所）	―
備蓄用生理用品	240 枚（声問 120 枚、富士見 60 枚、東浦 60 枚）	―
粉ミルク	3 缶（1 缶×3 箇所）	3 缶
カセットガスコンロ	30 台（10 台×3 箇所）	―
カセットガスボンベ	576 本（192 本×3 箇所）	―
医療用マスク(50 枚入)	6 個（2 個×3 箇所）	―
シューズカバー(100 枚入)	12 箱（4 箱×3 箇所）	―
ウェットティッシュ(200 袋入)	3 箱（1 箱×3 箇所）	―
防護服	15 着（5 着×3 箇所）	―
発電機 1.8kva	6 台（2 台×3 箇所）	―

地域の資源を活かした魅力ある“仕事づくり”

(1) 次代へつなぐ魅力ある第１次産業の持続的発展

【日本一の漁場が育む漁業の維持・発展】 〈145 ページ〉

○ 水産加工業振興助成事業

・ 水産加工残滓を産業廃棄物処理事業者が収集し、又は運搬し、稚内市バイオエネルギーセンターで処理する場合に発生する経費に対し助成金を交付した。

利用者　9 事業者

数　量　84.49t

助成金　1,304,170 円（1t当たり 15,500 円の助成）

○ 資源育成強化対策事業費補助事業

・ 漁業資源増大、生産性向上を目指し、漁業者自らが行う資源育成事業及び調査試験事業で漁業振興を図る取組に対し補助金を交付した。

稚ウニ放流　30 万粒

総事業費　3,330,700 円　　市補助金額　1,515,350 円

稚ナマコ種苗　生産 ： 幼生 400 万粒、稚ナマコ 68 万 7 千個

放流 ： 幼生 400 万粒、稚ナマコ 37 万 2 千個

総事業費　4,937,012 円　　市補助金額　1,500,101 円

○ 沿岸漁業担い手育成事業費補助事業

・ 沿岸漁業の活性化を担う漁業を志す者又は漁業就業者の育成を図る取組に対し補助金を交付した。

総合研修　1 人　資格取得研修　3 人

総事業費　936,900 円　　市補助金額　244,950 円

○ 水産振興制度資金支援事業

・ 稚内市漁業近代化資金利子補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
令和５年度	79 件	862,300,000 円	9,506,967 円
令和６年度	92 件	753,500,000 円	13,528,714 円

・ 稚内市漁業近代化資金保証料補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	保証料補給金
令和５年度	36 件	332,000,000 円	1,411,512 円
令和６年度	36 件	0 円	1,240,186 円

○ 海獣類漁業被害防止対策事業費補助事業

・トド及びアザラシによる漁業被害の防止・軽減を図ることを目的として対策を実施する事業に対し補助金を交付した。

総事業費　1,790,095 円　　市補助金額　846,325 円

○ 海洋ごみ回収処理推進事業

・漁業者自らが操業、または航海中に回収したロープやプラスチック容器などの「海洋ごみ」を処分した。

処分量　2.51t　　総事業費　597,476 円

【広大な農地から供給される農畜産物の生産力向上】　〈139・141 ページ〉

○ 稚内市グリーンパートナー推進協議会運営費補助事業

・酪農青年交流会や酪農青年と家族に向けたセミナーを開催したほか、結婚相談員を対象とした全道グリーンアドバイザー研修会に参加した。

実施事業	参加者
酪農青年交流会（10 月）	男性 4 人、女性 4 人
酪農青年と家族に向けたセミナー（3 月）	19 人

○ 酪農ヘルパー事業費補助事業

	加入戸数	利用延日数	補　助　額
稚内酪農ヘルパー利用組合	49 戸	2,032.0 日	8,766,000 円
沼川酪農ヘルパー利用組合	42 戸	1,150.0 日	8,194,000 円
合　　計	91 戸	3,182.0 日	16,960,000 円

○ 農業関係利子補給金等事業

・農業経営基盤強化資金（経営改善措置の実施に必要な長期資金）に対する利子補給金

	件　数	融資残高	利子補給額
北宗谷農業協同組合稚内支所	1 件	1,004,000 円	3,012 円
北宗谷農業協同組合沼川支所	1 件	5,857,703 円	15,815 円
その他	1 件	224,509,862 円	606,175 円
合　　計	3 件	231,371,565 円	625,002 円

○ 新規就農者支援事業費補助事業

・ 補助金支給実績

補助金等の名称	支給内容	令和５年度	令和６年度
経営自立補助金	年間賃借料の 1/2 相当額を５年間補助	４人	２人
経営安定補助金	施設等の固定資産税相当額を３年間補助	０人	０人
営農実習奨励金	営農実習開始時から１か月 10 万円以内の額を２年以内の期間で補助	０人	０人
経営開始奨励金	経営開始時に一時奨励金（100 万円）を支給	０人	１人

○ 中山間地域等直接支払交付金事業

・ 農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を支援するため、農業の付加価値向上や農業収益の向上、耕作放棄地の防止及び農村の活性化を図ることを目的とした農業者に対する交付金

集　落　数	参加農家戸数	対 象 面 積	交 付 金 額
2	126 戸	116,959,173　㎡	175,438,759 円

○ 家畜自衛防疫事業

・ 牛の予防注射の費用の一部を助成した。

北宗谷農業協同組合稚内支所　8,731 頭

北宗谷農業協同組合沼川支所　6,141 頭

○ 農業基盤の整備〔道営事業・公社営事業〕

地　区　名	事 業 名（事業年度）	事 業 概 要
稚 内 第 3	道営草地整備事業 （令和２～令和６年度）	草地整備改良　667.4ha 草地造成改良　2.8ha 用排水施設整備　203.6ha
樺 岡 第 2	道営公共牧場整備事業 （令和３～令和 10 年度）	家畜保護施設２棟 管理施設、雑用施設、牧場用機械 草地整備改良　287.2ha
稚　　内	道営集乳農道整備事業 （令和５～令和 10 年度）	幹線　L=1,543m　２路線 支線　L=81m　２路線
クトネベツ	道営営農用水整備事業 （令和３～令和７年度）	送水施設、送配水管 L=14,050m
北　沼　川	畜産担い手育成総合整備事業 （令和４～令和７年度）	草地整備改良　390.6ha 草地造成改良　25.4ha 家畜保護施設整備　１棟
沼川南部第２	畜産担い手育成総合整備事業 （令和５～令和８年度）	草地整備改良　326.6ha 草地造成改良　2.2ha 家畜保護施設整備　１棟

○ 大規模草地管理運営事業

	令和５年度	令和６年度
育成牛	255,260 頭	217,368 頭
哺育牛	29,142 頭	32,755 頭
合　計	284,402 頭	250,123 頭

【森林の多面的機能の発揮と林業の振興】　〈143 ページ〉

○ 豊かな森づくり推進事業

・ 森林資源の循環利用の推進を図るため、植林を実施した森林所有者に対し補助金を交付した。

造林：実施面積 29.24ha

○ 森林環境整備事業

・ 下刈 ： 実施面積 180.26 ha

・ 産出木材の運搬 ： 運搬材量 2,000 ㎥

・ 森林作業道の修繕 ： 原材料量 1,500 ㎥

○ 市有林造林事業

・ 造　　林 ： 宗谷地区・川西地区　6.50ha （秋期造林 アカエゾマツ 6,000 本、トドマツ 7,000 本）

・ 下　　刈 ： 宗谷岬・東浦地区　42.00 ha

・ 間　　伐 ： 川西地区　23.94 ha

○ 緑化推進事業

・ 無料苗木配布　ブルーベリー 320 本

○ 市民植樹祭事業

・ ミズナラ 68 本、イタヤカエデ 52 本、トドマツ 62 本

・参加者数 61 人

（2）活力に満ちた産業の育成と働きがいのある労働環境の充実

【地域資源を活かした高付加価値化の推進】　〈147 ページ〉

○ 物産振興対策事業

・ 稚内産品の知名度向上と販路拡大を図るため、道内外物産展に参加した。

北海道の物産と観光展 （大分県大分市）

さっぽろオータムフェスト 2024（札幌市）

北海道フェア in 代々木（東京都渋谷区）

太田市交流都市物産朝市（群馬県太田市）

○ 稚内ブランド推進事業

・「稚内ブランド推進協議会」への支援を行った。

稚内ブランド総認定数 ： 原材料 7 品、加工品 27 品、地域資源 4 点

【先端技術の導入とワークライフバランスの充実によるイノベーションの創出】

〈147 ページ〉

○ 中小企業振興事業

・ 稚内市中小企業振興基本条例で定める基本理念・基本方針に基づき、令和 5 年度に中小企業振興助成金の見直しを実施し、助成金を交付することにより中小企業の支援を行った。

助成金の名称		令和 5 年度		令和 6 年度	
		事業者数等	交付額	事業者数等	交付額
販路拡大支援事業助成金		10 社	2,070,270 円	5 社	1,165,297 円
内訳	特定展示会等出展事業	6 社	1,224,780 円	4 社	911,807 円
	新商品開発等事業	2 社	504,490 円	1 社	253,490 円
	ホームページ制作事業	2 社	341,000 円	0 社	0 円
新規創業者支援事業助成金		8 人	4,311,294 円	13 人	8,444,257 円
商店街空き店舗活用事業助成金		1 人	275,000 円	4 人	1,821,774 円
IoT等導入促進支援事業助成金		1 社	102,593 円	8 社	1,362,377 円
内訳	IoT 活用事業	1 社	102,593 円	3 社	535,704 円
	ロボット導入事業	－	－	2 社	600,000 円
	キャッシュレス決済等導入事業	－	－	3 社	226,673 円
人材確保等支援事業助成金		18 社(18 人)	1,234,273 円	4 社	543,231 円
内訳	研修参加事業	13 社(13 人)	479,000 円	0 人	0 円
	合同企業説明会等出展事業	1 社	155,273 円	2 社	401,666 円
	インターンシップ受入事業	1 社	150,000 円	1 社	31,565 円
	採用活動促進事業	3 社	450,000 円	1 社	110,000 円
商店街活性化事業助成金		2 商店街	1,000,000 円	2 商店街	1,000,000 円

【地元企業と創る活力ある産業の育成】 〈137・147 ページ〉

○ 総合勤労者会館管理運営事業

・ 総合勤労者会館、勤労青少年体育センターの利用状況

〔利用実績〕

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
稚内市総合勤労者会館	20,500 人	20,719 人
稚内市勤労青少年体育センター	9,043 人	7,582 人

〔サークル活動〕

区　分	令和５年度	令和６年度
勤労青少年ホーム	２サークル	２サークル
働く婦人の家	67 サークル	69 サークル

○　高等学校卒業者就職支援事業

実施事業	事業内容	参加者数	
		令和５年度	令和６年度
インターンシップ支援事業	在学中に望ましい勤労観や職業観を育成するための就業体験の支援を行った。	263 人	223 人
就職意識形成セミナー	企業人を講師に就職や働くことの意義などを生徒に理解させ、自ら考えさせるためのセミナーを開催した。	58 人	61 人
合同企業説明会	地元求人企業の情報を提供し、企業に対する理解を深め、地元就職の促進を図った。	32 人 （参加企業36社）	55 人 （参加企業36社）

○　地元就職率向上・Uターン意識向上事業

・　人口減少や有効求人倍率の全国的な上昇に伴う近年の労働者不足に鑑み、地元の中学生を対象に、より早いうちから地域の産業を知ってもらうとともに、将来的な就職の選択肢としての地域企業のPRを行い、より充実したインターンシップ、進学後の地元就職、Uターンの促進による将来的な労働力確保に繋げることを目的に地元企業PRフェアを開催した。

開催日等　　令和６年10月29日（火）稚内市総合体育館
タイトル　　わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア2024
参加者数　　中学生195人（稚内中学校25人・稚内南中学校55人、稚内東中学校56人・潮見が丘中学校45人・宗谷中学校11人・天北中学校３人）
　　企業　45社
主　　催　　稚内商工会議所青年部・稚内市・稚内市教育委員会・稚内で働こう応援会議

○　制度資金支援事業

・　稚内市中小企業特別融資貸付

厳しい経営状況の中、中小企業のニーズに応えるため、低利の融資を斡旋し、保証協会の保証料を助成する中小企業特別融資を実施した。

	令和５年度		令和６年度	
	件数	実績額	件数	実績額
融資実績	139 件	1,138,020,000 円	129 件	1,243,050,000 円
保証料補給実績	164 件	18,971,500 円	155 件	15,826,774 円

(3) 資源から魅力への変換と世界からの交流人口の拡大

【広域による新たな体制づくりと観光客の誘致促進】　〈149・151・181 ページ〉

○ 広域観光振興事業

〔共同で実施した事業〕

・ 観光案内業務(稚内空港) 【実施主体　宗谷観光連盟】

・ きた・北海道 DMO の観光 WEB サイトと連動した観光情報の発信 【実施主体　北海道観光機構】

・ 来訪者アンケート調査(稚内・利尻島・礼文島) 【実施主体　きた・北海道 DMO】

　アンケートサンプル数:4,694 件(上期(4～9 月):4,170 件、下期(10～3 月):524 件)

・ 住民満足度調査(稚内・利尻島・礼文島) 【実施主体　きた・北海道 DMO】

　アンケートサンプル数:150 件(稚内市 72 件、礼文町 15 件、利尻町 26 件、利尻富士町 37 件)

・ 北海道エアポート㈱と道内 7 空港所在自治体が連携した誘客プロモーションの実施

【実施主体　北海道誘客促進実行委員会】

○ 利尻礼文サロベツ国立公園指定 50 周年記念事業　※新規

【実施主体　稚内・利尻・礼文・サロベツ観光振興協議会】

・ 利尻礼文サロベツ国立公園指定 50 周年を祝した記念式典の開催

　内　　容:記念式典、パネルディスカッション、環境講演会、ワークショップなど

　参加者数:約 500 人(延べ人数)

・ 国立公園エリアでの周遊促進等を目的としたデジタルスタンプラリーの実施

　参加者数:644 人(道外 282 人、道内 362 人)

・ Instagram の写真投稿機能を活用したフォトコンテストの開催

　応 募 数:401 作品

　入賞作品:最優秀賞 1 作品、優秀賞 6 作品、佳作 8 作品

・ 道内外に向けた誘客プロモーションの実施

　出展イベント:「愛知から出かけよう！」第 10 回日本各地の名産・観光巡りフェア 2024、第 75 回さっぽろ雪まつり

○ 合宿誘致推進事業費補助事業

令和 5 年度			令和 6 年度			種目内訳
種目数	団体数	延べ人数	種目数	団体数	延べ人数	
5 種目	38 団体	2,771 人	6 種目	36 団体	2,262 人	バレーボール、硬式野球、カーリング、卓球、サッカー、バスケットボール

【魅力ある観光資源への変換と魅力の発信】　〈149・151 ページ〉

○ 観光振興事業

・ 観光客動態調査

調査箇所　ノシャップ岬・宗谷岬・稚内公園

アンケートサンプル数　3,060 人

・ 観光入込客状況

	令和５年度	令和６年度
観光入込客数	491,300 人	516,400 人
宿泊客数	265,900 人	260,900 人
宿泊客延べ数	351,900 人泊	356,800 人泊
訪日外国人宿泊客延べ数	11,954 人泊	19,981 人泊

・ 地域おこし協力隊

内容　新たな体験コンテンツ造成に向けた調査・検討

・ 稚内市観光振興のための新税に関する審議会の開催　※新規

【第１回】

開催日　令和７年２月 12 日（水）

議　事　・稚内市観光振興のための新税に関する審議会の役割等

・観光振興のための新税（宿泊税）とは

・稚内市の観光の現状

・北海道内における直近の宿泊税等の導入状況

【第２回】

開催日　令和７年３月 27 日（木）

議　事　・新たな「税」の必要性　ほか

○ 誘致宣伝事業

・ 印刷物等の製作、各メディア等における広告・宣伝

	印刷物等の製作	各メディア等における広告・宣伝
実施内容	観光ガイドブック R7 版　107,000 部	○ 台湾人向け訪日観光サイト「ラーチーゴー」 ○ タイ旅行博パンフレット「Trip to HOKKAIDO in Thailand」 ○ タイガーエア台湾機内誌 ○ 楽天ターゲティングメール広告 ○ 市ホームページ及び SNS（Facebook、Instagram）による情報発信 ※ わっかない観光活性化促進協議会実施分も含む

○　観光活性化促進事業

・ 観光客誘致促進事業補助金

事業主体

わっかない観光活性化促進協議会

主な事業内容

・ 既存航空路線とタイアップした旅行会社の商品造成販促、Web やデジタルサイネージを活用した広告宣伝

・ 観光列車の受入強化

・ 二次交通対策の実施

・ 就労体験プログラムの実施

・ 観光スポットラリーの実施

・ 国内・国外プロモーションの実施

・各イベントの実施

イベント名	来場者･参加者数	
	令和５年度	令和６年度
宗谷ふれあい公園スノーランド	1,868 人	1,971 人
大沼バーニャビレッジ	28 人	56 人
初日の出 in てっぺん	1,770 人	1,860 人
ONSEN ガストロノミーウォーキング	94 人	78 人

○ 観光施設等管理運営事業

事業名	来場者数	
	令和５年度	令和６年度
浜勇知展望休憩施設管理運営事業	7,425 人	10,336 人
大沼野鳥観察館管理運営事業	4,192 人	4,209 人
宗谷丘陵展望休憩施設管理運営事業	7,481 人	8,152 人
北の桜守資料展示施設管理運営事業	2,570 人	2,518 人
港ギャラリー管理運営事業	188,855 人	197,416 人
港のゆ管理運営事業	127,711 人	134,759 人

○ 各イベント開催補助事業

事業名	来場者数等	
	令和５年度	令和６年度
稚内みなと南極まつり	27,070 人	27,785 人
わっかない氷雪の広場	8,700 人	8,700 人
全国犬ぞり稚内大会	天候の影響により中止	5,100 人

【クルーズ船誘致と受入体制の構築】 〈159 ページ〉

○ 稚内港活性化事業

・ クルーズ客船誘致のため、稚内市及び市内関係者とともに、国内外船社 5 社及び旅行会社 3 社に対し、10 回のポートセールスを実施した。

・クルーズ船「飛鳥Ⅱ」の稚内港寄港に伴い、歓迎セレモニー等を実施した。

飛鳥Ⅱ：寄港日　令和 6 年 7 月 30 日（火）

対応内容：歓迎セレモニー、市民船内見学会、みなと Café、出港アトラクションなど

・クルーズ船「にっぽん丸」の抜港

にっぽん丸：抜港日　①令和 6 年 6 月 12 日（水）、②令和 6 年 9 月 1 日（日）、③令和 6 年 9 月 7 日（土）、④令和 6 年 9 月 10 日（火）

対応内容：ゆるキャラと関係者によるお迎えとお見送り

（4） 地域特性を最大限に活かした産業の育成と企業誘致

【エネルギー産業の創出】 〈105 ページ〉

○ 太陽光発電施設維持管理事業

・ 次世代エネルギーパーク拠点施設として、稚内メガソーラー発電所で発電した電力を、隣接する大沼球場と道立宗谷ふれあい公園へ供給し、再生可能エネルギーの利活用を図った。

○ 新・省エネルギー推進事業

・ 風力発電事業

稚内市内で稼働中・工事中・アセス中の風力発電施設一覧（小型風力発電は除く） ※ R7.3.31 現在

	施設名・事業名	稼働年月	アセス状況
稼働中	稚内市水道事業風力発電所	平成 12 年 12 月	－
	稚内風力発電所	平成 10 年 4 月 平成 13 年 6 月	－
	宗谷岬ウインドファーム	平成 17 年 11 月	－
	天北ウインドファーム	平成 30 年 5 月	－
	上勇知ウインドファーム	令和 5 年 4 月	－
	川南ウインドファーム	令和 5 年 5 月	－
	新さらきとまないウインドファーム	令和 5 年 12 月	－
	川西ウインドファーム	令和 6 年 1 月	－
	樺岡ウインドファーム	令和 6 年 2 月	－
	勇知ウインドファーム	令和 7 年 2 月	

	施設名・事業名	稼働年月	アセス状況
アセス中	(仮称)宗谷岬風力発電事業【更新計画】	－	準備書終了
	(仮称)宗谷丘陵風力発電事業	－	準備書終了
	(仮称)増幌風力発電事業	－	準備書終了
	(仮称)宗谷管内風力発電事業	－	方法書終了
	(仮称)宗谷丘陵南風力発電事業	－	方法書終了
	(仮称)稚内タツナラシ山ウインドファーム	－	方法書終了
	(仮称)北海道(道北地区)ウインドファーム稚内	－	方法書終了
	(仮称)抜海・豊田風力発電事業	－	配慮書終了

○ 再生可能エネルギー推進事業

・ 電力自己託送の実施

稚内市水道事業風力発電所で発電したクリーンな電力を活用した公共施設への自己託送の仕組みを構築し、令和４年３月から本格運用を開始した。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
発電電力量	1,302,380 kWh	2,040,800 kWh	2,389,003 kWh
自己託送電力量	677,830 kWh	1,285,988 kWh	1,585,217 kWh
自己託送 CO_2 削減量	372 t-CO_2	685 t-CO_2	848 t-CO_2

〔自己託送施設(19 施設)〕

市立稚内病院、総合文化センター、下水終末処理場、温水プール水夢館、健康増進センター童夢、稚内市役所、総合体育館、こまどりスキー場、市立図書館、市立稚内こまどり病院、潮見が丘小学校、稚内中央小学校、潮見が丘中学校、稚内南中学校、少年自然の家、青少年科学館(水族館)、稚内東中学校、稚内南小学校、みどりスポーツパーク

・ 地域エネルギー会社による再エネ電力の供給

地域の豊富な再生可能エネルギーの地産地消を進めることで、地域の脱炭素化を推進するとともに、エネルギー代金の域内循環による地域経済の活性化を図ることを目的に、地元企業5社、発電事業者１社、稚内市の共同出資により、令和６年２月に「株式会社北風と太陽エナジー」を設立した。

令和６年度は、令和７年４月からの公共施設(高圧)に対する電力供給の開始に向けて関係者間で協議等を行うとともに、稚内新エネルギー研究会と共同で「地域新電力セミナー」を開催し、株式会社北風と太陽エナジーによる再エネ電力の地産地消の取組に関して市民や事業者の理解を深めた。

【サハリンをはじめとする海外との経済交流の促進】　〈151 ページ〉

○　日ロ友好会館運営事業

〔利用状況〕

	令和５年度	令和６年度
日本人利用者数	516 人	567 人
ロシア人利用者数	384 人	280 人
その他外国人利用者数		146 人
合　計	900 人	993 人
会議室有料使用	68 件	65 件

○　稚内日ロ経済交流協会事業費補助事業

・ 通訳・翻訳の提供、サハリン情報紙の発行等を行う稚内日ロ経済交流協会への補助金

○　サハリン事務所管理運営事業

職員数（市職員）　１人（兼務）

（ウクライナ情勢等の影響により常駐できず、「一時閉鎖扱い」として現地スタッフと連絡を取りながら最低限の維持管理を行った。）

互いに支え、いきいきと生活できる“暮らしづくり”

(1) 地域医療の充実と健康づくりの推進

【市立病院の医療従事者の確保と関係機関との連携】 〈131 ページ〉

○ 市立稚内病院の運営及び整備

・ 医師及び医療技術職員の確保対策

・ 中学生を対象とした医療探検講座の開催(参加者数:19 人)

・ 医療機器の整備(手術・麻酔記録システム、セントラルモニタ、泌尿器科内視鏡システム 等)

・ 本館施設整備(手術室系統空調機改修工事、電話交換システム更新工事、冷房設備増設工事、自動火災報知設備更新工事 等)

○ 市立稚内こまどり病院の運営

・ 地域のプライマリケアの一翼を担うべく、外来医療提供体制の維持に努めた。

【診療所誘致の推進と地域で医療を守る取組】 〈127 ページ〉

○ 地域医療対策推進事業

・ 地域医療を考える稚内市民会議

市立稚内病院をはじめ、本市の病院及び診療所を市民が協力しながら支えることにより、地域医療の充実を図り、誰もが安心して住み続けられる地域を目指し、地域ぐるみの事業を実施した。

構成団体 : 25 団体

〔医療市民会議〕 実施日 令和 7 年 1 月 20 日

〔稚内の医療を考える市民の集い〕 実施なし

〔旗波運動〕 実施期間 令和 6 年 10 月 28 日～11 月 22 日

・ 医療と健康のまちづくり応援団による取組

地域医療について関心を持ち、市民一人ひとりが健康で暮らし続けられるように、「病院」・「健康」・「未来」・「医師誘致」の 4 つの課題別応援団から構成される「医療と健康のまちづくり応援団」によって、地域医療環境の充実のため医師らに対する感謝の気持ちを伝える活動など様々な運動を展開した。

・ 救急医療確保対策等について

脳卒中における救急告示医療機関として休日または夜間において救急医療を担う医療機関に対して、運営に要する経費の一部を補助し、救急体制及び病院の医療体制の維持を図った。

救急医療等確保対策補助金 69,856,000 円

交付先 : 社会医療法人禎心会 稚内禎心会病院

【心とからだの健康づくり】　〈121・127・129・211 ページ〉

○ 健康増進センター管理運営事業

〔利用状況〕

	令和５年度	令和６年度	開館からの累計
開　館　日　数	300 日	344 日	9,479 日
入　館　者　数	114,176 人	125,492 人	5,822,976 人
うち観光客	10,716 人	12,007 人	576,494 人
うち外国人	337 人	296 人	37,658 人
月平均利用者数	9,515 人	10,431 人	17,486 人
日平均利用者数	381 人	364 人	614 人

○ 特定疾患患者援護事業

・ 特定疾患患者について、稚内市以外の専門医療機関への治療通院に要した費用（交通費及び宿泊費）の一部助成を行った。

実績　52 人（244 件）（昨年度 58 人（270 件））

○ 予防接種対策事業、エキノコックス症対策事業

事　業　内　容		区　分	令和５年度	令和６年度
予防接種	五種混合	接種者数		286 人
	四種混合	接種者数	572 人	171 人
	二種混合（ ジフテリア・破傷風 ）	接種者数	154 人	191 人
	不活化ポリオ（小児マヒ）	接種者数	0 人	0 人
	BCG	接種者数	135 人	105 人
	麻しん・風しん混合（MR）ワクチン 1・2 期	接種者数	314 人	291 人
	水痘	接種者数	269 人	245 人
	子宮頸がん予防ワクチン接種	接種者数	210 人	777 人
	ヒブワクチン接種	接種者数	513 人	144 人
	小児用肺炎球菌ワクチン接種	接種者数	509 人	448 人
	日本脳炎	接種者数	626 人	575 人
	B型肝炎	接種者数	378 人	325 人
	ロタウイルス	接種者数	256 人	222 人
	高齢者等インフルエンザ予防接種	助成者数	6,602 人	5,780 人
	肺炎球菌ワクチン接種	助成者数	248 人	60 人
	新型コロナウイルス感染症予防接種	助成者数		1,605 人
エキノコックス症血液検査		受診者数	368 人	194 人

○ 歯の健康推進事業

歯と口の健康フェスティバル：社会情勢の変化に伴い共催団体と協議のうえ中止

○ 健康教育事業、健康相談支援事業

事業内容	区　分	令和５年度	令和６年度
健康教育事業	実施回数	52 回	41 回
	受講者数	1,897 人	1,392 人
健康相談支援事業	実施回数	27 回	44 回
	実施人数	193 人	233 人
訪問指導	実施人数	33 人	35 人

○ がん検診事業、健康診査事業

事業内容	受診者数	
	令和５年度	令和６年度
胃がん検診	893 人	907 人
子宮がん検診	561 人	516 人
超音波検査	564 人	526 人
乳がん検診	712 人	840 人
肺がん検診	1,548 人	1,650 人
喀痰検査	28 人	25 人
大腸がん検診	1,470 人	1,567 人
前立腺がん検診	643 人	695 人
骨粗鬆症検診	617 人	691 人
肝炎ウイルス検診	262 人	283 人

・ 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

一定年齢に到達した対象者に対し、無料で検診を受けられるクーポンを発行して受診を促した。

子宮がん検診５人、乳がん検診 53 人

○ ピロリ菌除菌事業

・ 中学２、３年生を対象に、ピロリ菌の検査と、ピロリ菌陽性者で希望する者に対し、除菌治療を実施した。

ピロリ菌検査　延べ 141 人、除菌治療６人

○ 国民健康保険事業

事業名	件数等	
	令和５年度	令和６年度
特定健康診査	1,167 件（受診率 27.0%）	1,204 件（受診率 26.2%）
特定保健指導	106 件	124 件
人間ドック検診助成	111 件	101 件
がん検診等助成	3,324 人	3,441 人
インフルエンザ予防接種助成	1,573 件	1,255 件
肺炎球菌予防接種助成	76 件	19 件

【食育の推進】 〈165 ページ〉

○ 食育推進事業

・「食育月間」の取組について

開 催 日	令和６年５月 31 日（金）～令和６年６月 16 日（日）
場　　所	稚内市立図書館
内　　容	食育関連の本を集めた図書コーナーの設置、「食」に関する掲示物、食物サンプルの展示による病気の予防や免疫力の維持など健康に過ごすための食事について啓発

(2) 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進

【障がい者福祉の推進】 〈115・117 ページ〉

○ 重度心身障害者医療費助成事業

		対象者数	助成件数	
			入院	その他
令和５年度	65 歳未満	281 人	347 件	6,542 件
	65 歳以上	458 人	826 件	10,901 件
令和６年度	65 歳未満	267 人	319 件	6,449 件
	65 歳以上	421 人	692 件	11,045 件

○ 特別障害者手当等給付事業

区　分	令和５年度	令和６年度
特別障害者手当	298 人	309 人
障害児福祉手当	100 人	88 人

○ 福祉灯油支給事業

・ 低所得の障がい者、ひとり親世帯等に対して灯油の購入費の一部を助成した。（278 世帯）

○ 障害者自立支援給付等事業

区　　分			令和5年度	令和6年度	備　考
介護給付費		在宅訪問系	505人	456人	障害福祉サービス受給者証交付 370人(年度末) 児童通所サービス受給者証交付 123人(年度末)
		在宅通所系	2,740人	2,701人	
		施設入所・入居	784人	729人	
		計画相談	463人	488人	
訓練等給付費		自立・就労支援	2,013人	1,928人	
		共同生活援助	1,297人	1,318人	
自立支援医療費	更生医療	(18歳以上)	1,691人	1,796人	
	育成医療	(18歳未満)	0人	0人	
補装具給付費			82人	53人	

○ 介護給付費等支給審査会事務

・ 稚内市介護給付費等支給審査会の開催(12回開催)

・ 介護給付費等支給審査件数　82件

○ 障害支援区分認定調査事務

・ 障害支援区分調査数　82件

○ 地域生活支援事業

区分(主なもの)	令和5年度	令和6年度	備　考
日常生活用具	314人	315人	ストマ、紙おむつ等 1,369月給付
コミュニケーション支援	31人	72人	奉仕員(手話・要約筆記)派遣
地域活動支援	4,029人	4,272人	障害者地域活動支援センター1か所
相談支援	358人	549人	障害者相談支援事業所4か所
身体障害者福祉タクシー	708人	762人	

【高齢者福祉の推進】　〈119・245・251・253・255・267・293ページ〉

○ 高齢者社会・生きがいづくり

事業名		区分		令和5年度	令和6年度
◆ 敬老祝品及び敬老祝金支給事業	敬老祝品	支給人数		521人	437人
	敬老祝金	支給人数	77歳	470人	525人
			88歳	220人	222人
			100歳	5人	11人
◆ 高齢者社会参加活動事業	バス乗車支援事業	対象者数		8,567人	8,479人
	JR乗車支援事業(抜海・勇知地区)	対象者数		56人	40人

事　業　名	区　分	令和５年度	令和６年度
◆ 高齢者入浴支援事業	対 象 者 数	10,728 人	10,550 人
	延べ利用人数	26,652 人	27,985 人
◆ 老人福祉センター管理運営事業 ※令和５年度廃止	利 用 登 録 者	281 人	－
	延 べ 利 用 者	3,523 人	－

○ 各種在宅介護支援事業の利用状況

事　業　名	区　分	令和５年度	令和６年度
◆ 外出支援事業 (一般の交通機関の利用が困難な高齢者の移動手段として、特殊仕様の車両により外出活動を支援)	利用登録者数	118 人	98 人
	延べ利用回数	1,685 回	1764 回
◆ 緊急通報装置給付運営事業 (日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置して、急病などの緊急時に対応)	設 置 台 数	5 台	4 台
◆ 簡易型緊急通報装置給付運営事業 (一人暮らしの高齢者又は虚弱な高齢者のみの二人世帯を対象に、簡易型の緊急通報装置を設置して、緊急時に対応)	設 置 台 数	63 台	45 台
◆ 訪問理美容サービス事業 (障がいなどのため理美容院に出向くことが困難な方の居宅において、理美容師が訪問のうえサービスを実施)	延べ利用人数	0 人	4 人
◆ 重度要介護者居宅サービス利用支援事業 (要介護４又は５の方を在宅で介護している低所得者の方に対する支援)	利用登録者数	47 人	49 人
◆ 介護保険サービス利用者負担軽減事業費補助事業 (要介護被保険者等のうち、低所得で特に生計が困難である方を対象にサービス利用に係る負担額を一部軽減)	利用登録者数	70 人	66 人
◆ 家族介護用品支給事業 (要介護４又は５の低所得者に対してオムツなどを購入できるクーポン券を交付)	申 請 登 録 者	25 人	26 人
	延べ支給件数	291 件	192 件
◆ 配食サービス事業 (一人暮らしなどの理由で、調理が困難な高齢者世帯に配食と安否の確認を行う)	延べ利用人数	302 人	437 人
	延べ利用食数	3,717 食	5,925 食
◆ 命のバトン事業 (65 歳以上の一人暮らし又は 65 歳以上のみの２人世帯に、救急時に必要な情報を保管する専用のキットを配布する)	配　布　数	23 人	39 人

○ 各活動への支援

事　業　名	区　分	令和５年度	令和６年度
稚内市老人クラブ連合会運営費補助事業	ク ラ ブ 数	40 ｸﾗﾌﾞ	39 ｸﾗﾌﾞ
稚内市老人クラブ交付金	会　員　数	1,000 人	917 人
長寿ふれあい交流事業費補助事業	助 成 町 内 会	65 ﾁｮｳﾅｲ	65 ﾁｮｳﾅｲ
	助成対象者数	8,938 人	8,882 人
高齢者活動促進事業※新規	助 成 町 内 会	－	23 ﾁｮｳﾅｲ

○ 後期高齢者医療事業

・ 各種申請の受付・相談及び保険料の徴収を行った。

被保険者数　75 歳未満　114 人

75 歳以上　5,773 人

○ 介護人材確保推進事業

・ 介護職員初任者研修実施業務

市内介護サービス事業所で働く介護職員を確保するため、稚内市内での資格取得が難しい初任者研修を開催した。

令和 6 年度 ： 受講生 10 人（資格取得 10 人）

・ 外国人介護人材育成支援事業

外国人介護福祉人材育成支援協議会（事務局：東川町）に正会員として加入し、市内施設で就労することを希望する外国人留学生 1 人に対し、生活費や学習活動を奨励する奨学金を給付した。

○ 介護認定審査会事務

・ 宗谷北部介護認定審査会の開催（50 回開催）

・ 稚内市分認定件数 1,449 件 （※令和 7 年 3 月末 要介護認定者数 1,934 人）

○ 介護認定調査事務

・ 介護認定調査数 1,498 件（市直営調査 1,347 件、委託調査 151 件、直営率 89.9%）

○ 短期集中予防サービス事業（通所型、訪問型）

事　業　名	区　分	令和 5 年度	令和 6 年度
運動器の機能向上事業	実施回数	46 回	46 回
	参加者数	317 人	209 人
栄養改善事業	実施回数	12 回	2 回
	参加者数	15 人	2 人
口腔機能向上事業	実施回数	16 回	5 回
	参加者数	16 人	5 人

○ 地域介護予防活動支援事業

・ふまねっとサポーターの組織化、通いの場を増やしていくこと等を目的に令和 6 年度から介護予防の評価・分析ができるよう一部委託により実施している。

事　業　名	区　分	令和 5 年度	令和 6 年度
◆ 介護予防サポーター等養成（育成）	実施回数	2 回	5 回
	養成等数	26 人	31 人
◆ 地域での介護予防教室・通いの場（月 1 回以上活動している通いの場箇所数）	開催箇所数	37 箇所	37 箇所
	参加延人数	351 人	382 人

○ 介護予防普及啓発事業

事　業　名	区　分	令和５年度	令和６年度
普及・啓発など ◆ 認知症予防教室（脳の健康教室） ◆ いきいき栄養教室 ◆ 健康運動教室 ◆ 介護予防教室	実 施 回 数	74 回	57 回
	延べ受講人数	2,735 人	2,580 人
相談事業 ◆ 高齢者健康相談事業	実 施 回 数	61 回	58 回
	延べ参加人数	603 人	622 人
その他 ◆ 介護予防手帳の交付	交 付 者 数	41 人	28 人

○ 地域リハビリテーション活動支援事業

事　業　名	区　分	令和５年度	令和６年度
地域リハビリテーション活動支援事業	実 施 回 数	0 回	8 回
	延べ参加人数	0 人	24 人

○ 地域包括支援センターの運営

・ 保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士等の専門職を配置して、高齢者が地域で安心して生活していくための地域包括ケア体制づくりに向けて、保健福祉の総合的な相談、虐待防止、要介護状態への移行を防止するための介護予防に関する事業などを実施した。また、社会保障充実分として包括的支援事業に位置づけられている、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業等を実施した。

〔活動状況〕

事　業　名	区　分	令和５年度	令和６年度
◆ 総合相談支援事業 （在宅介護支援センター委託分含む）	延べ対応人数	4,760 人	4,970 人
◆ 地域ケア支援事業 （地域ケア会議研修会、個別ケース会議等の開催）	開 催 回 数	16 回	15 回
◆ 権利擁護事業 （高齢者虐待、成年後見制度など）	延べ対応人数	829 人	454 人
◆ 成年後見制度利用支援事業	市長申立件数	2 件	1 件

○ 認知症総合支援事業

・ 認知症初期集中支援推進事業として、認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応に向けた支援を行った。

・ 地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員の活動の一環として、オレンジカフェ（認知症カフェ）開催支援や「わっかない認知症の方を支える家族の会『ほっとする会』」の運営支援を行った。

・ 認知症の人と認知症サポーターステップアップ講座受講者等がチームを組み、認知症の人やその家族の困り事の解消を目指す仕組みであるチームオレンジの活動を支援した。1 チーム目である「ちょこっとオレンジ」は、オレンジカフェを開催し、2 チーム目である「スマイルオレンジ」も活動を開始した。

・ 地域における認知症や認知症の人の理解の促進を図るため、同一会場で映画上映など認知症関連事業を複合的に実施するイベント「オレンジフェスタ」を開催した。

			令和５年度	令和６年度
初期集中支援	支援数		４人	５人
		支援終了	３人	４人
		継続支援	１人	１人
	チーム員会議開催回数		４回	３回
カフェ	開催数		12 回	11 回
	参加者数		167 人	222 人
家族会	開催数		７回	６回
	参加者数		66 人	54 人
ケア向上	開催数		１回	１回
	参加者数		149 人	135 人

○ 生活支援体制整備事業

・ 老人クラブに所属していない方々が１人でも気軽に参加でき、新しく知り合った人たちと交流が図られるよう、「ちょこっと旅」、「おさいほうクラブ」、「パソコン教室」などのフリークラブを運営し、高齢者の社会参加を促進した。

○ 在宅医療・介護連携推進事業

・ 市内の医療・介護の関係機関・関係団体などと協力して、在宅医療・介護の連携を推進するため、以下の活動を実施した。

〔令和６年度事業実績〕

1. 課題抽出・対応策検討のための会議開催
   - 在宅医療・介護連携推進検討会（てっぺんの会）開催６回
   - てっぺんの会のこれまでのワーキングチームである「地域啓発」、「口腔ケア」、「入退院等支援」に「看取り・急変」を加え、検討・活動した。
2. 地域の医療・介護の資源把握及び関係者間の情報共有の支援
   - てっぺんの会入退院等支援ワーキングチームが、専門職向けの情報共有のための通信誌の発行や高齢者が医療と介護の両方が必要になったときに、医療と介護の連携が円滑に図れるよう情報を書き込める連携手帳の原案を作成し、試用している。
3. 医療・介護関係者の連携推進
   - 多職種研修会開催　１回
4. 住民への普及啓発
   - 介護の日に合わせて図書館で在宅医療や介護に関するパネル展示や、在宅療養パンフレット「これまでもこれからも」及び相談先のチラシを配布。また、正しい口腔ケアについて理解を広めるため講演会を開催した。

5. 在宅医療・介護連携相談窓口設置

・ 医療や介護の従事者からの在宅医療と介護連携に関する相談や、市民からの在宅療養に関する相談に対する窓口を設置。

			令和５年度	令和６年度
相談件数			17 件	15 件
	相談元	医療	10 件	9 件
		介護	1 件	0 件
		家族等	6 件	6 件

6. 管内市町村連携の推進

・ 管内市町村の広域連携意見交換会　１回

・ 多職種研修等の案内の実施

○ 認知症サポーター等養成事業

事　業　名	令和５年度	令和６年度
認知症サポーター養成講座	257 人 （累計 4,951 人）	259 人 （累計 5,210 人）
認知症サポーター ステップアップ養成講座	0 人 （累計 127 人）	20 人 （累計 147 人）

○ 認知症高齢者等見守り・SOS ネットワーク事業

・行方不明になった認知症高齢者等の早期発見・保護を目的に事前登録制を運用。また、行方不明を予防するための地域の見守り体制の構築を行っている。

			令和５年度	令和６年度
ネットワーク推進会議開催			1 回	1 回
年度末登録件数			51 件	59 件
	事前登録件数		57 件	59 件
		新規登録件数	18 件	8 件
		継続登録件数	39 件	51 件
	年度内廃止件数		6 件	0 件
ネットワーク稼働回数			0 回	0 回
模擬訓練実施回数			0 回	0 回

○ 介護予防ケアマネジメント

事　業　名	令和５年度	令和６年度
介護予防支援事業 （要支援者の介護予防プラン報酬請求件数）	1,597 件	1,620 件
介護予防ケアマネジメント （要支援者及び事業対象者の介護予防プラン報酬請求件数）	2,440 件	2,325 件

【生活困窮者への支援強化】 〈117・125 ページ〉

○ 生活保護扶助事務

区　分	令和５年度	令和６年度
被保護世帯数	567 世帯	567 世帯
被保護人員数	700 人	685 人
保　護　率	22.9‰	22.9‰
面接相談件数	114 件	117 件

○ 生活困窮者自立支援事業

・ 必須事業の自立相談支援事業、住居確保給付金のほか、任意事業として家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施した。

事業名		令和５年度	令和６年度
自立相談支援事業	相談件数	37 件	43 件
	支援件数	19 件	24 件
家計改善支援事業	相談件数	3 件	4 件
	支援件数	3 件	4 件
就労準備支援事業		9 件	14 件
住居確保給付金		1 件	0 件

【誰もが参加・参画できる社会の推進】 〈115 ページ〉

○ 稚内市社会福祉協議会運営費補助事業

・ 交付先　稚内市社会福祉協議会

・ 主な事業内容　福祉団体の事務局業務

社会福祉事業（共同募金助成事業、生活福祉資金等貸付事業、愛情銀行事業 等）

公益事業（生活困窮者自立支援事業 等）

○ 民生児童委員活動支援事業

・ 各民生委員、児童委員が行った相談・支援の年間延べ件数

〔活動状況〕

区　　分	令和５年度		令和６年度	
	相談・支援件数	活動日数（延べ）	相談・支援件数	活動日数（延べ）
民生委員（児童委員）108 人	8,237 件	10,525 日	9,014 件	9,909 日
主任児童委員　　12 人	48 件	712 日	52 件	690 日
合　　計	8,285 件	11,237 日	9,066 件	10,599 日

○　稚内市遺族会運営費補助事業

・交付先　稚内市遺族会

・主な事業内容　稚内市遺族会戦没者忠霊碑供養法要の開催
北海道護国神社例大祭の遺族参拝
稚内市戦没者追悼式の参加　等

○　稚内市社会を明るくする運動推進委員会運営費補助事業

・交付先　稚内市社会を明るくする運動推進委員会

・主な事業内容　街頭啓発活動（北門神社例大祭）
研修会の開催
市内高校卒業生等へのメッセージと記念品の贈呈

○　声問ノーマライゼーション推進委員会運営費補助事業

・交付先　声問ノーマライゼーション推進委員会

・主な事業内容　道道の花壇整備
ふれあい夏まつり
ふれあい音楽の集い
声問小学校と稚内養護学校の交流

○　ひきこもりサポート事業

・ひきこもり相談窓口の設置　　相談実人数　11 人、相談件数　12 件

(3) 人と地球にやさしいまちづくり

【低炭素社会の実現】　〈105・131・159 ページ〉

○　環境基本計画推進事業

・稚内市環境審議会の開催

【第１回】

日時　　令和７年１月 29 日（水）

議題　　稚内市環境基本計画年次報告について
稚内市地球温暖化対策実行計画実施状況について

・ 第３次稚内市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進

計画期間　令和３年度～令和 12 年度

計画目標　二酸化炭素排出量を令和 12 年度で基準年度（平成 25 年度）比 50％削減を目指す。

※ 計画目標を「40％削減」から「50％削減」に上方修正（令和６年３月改定）

各課に配置している地球温暖化防止推進員が点検シートを報告

	平成 25 年度（基準年度）	令和４年度	令和５年度	令和６年度
CO_2 排出量(t-CO_2)	20,169	16,562	16,862	16,503
削減率（基準年度比）	－	17.9％	16.4％	18.2％

・ 第２次稚内市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進

計画期間　令和３年度～令和 12 年度

計画目標　二酸化炭素排出量を、令和 12 年度で基準年度(平成 25 年度)比 46％以上削減を目指す。

※ 計画目標を「26％以上削減」から「46％以上削減」に上方修正（令和６年３月改定）

稚内市における二酸化炭素排出量（環境省公表値）

	平成 25 年度（基準年度）	令和４年度
CO_2 排出量(t-CO_2)	467,444	368,223
削減率（基準年度比）	－	21.2

○ ゼロカーボン推進事業

・省エネ製品買替促進補助金　※新規

ゼロカーボンシティの実現に向けて、家庭における二酸化炭素の排出削減を目的に、家電の中でも消費電力が大きい冷蔵庫と照明器具の省エネ製品への買い替えに対して補助金を交付した。

［令和６年度］

	交付件数	交付金額	買替台数	CO_2 削減効果
冷蔵庫	732 件	27,437,000 円	732 台	67.3 t-CO_2
照明器具	435 件	3,345,000 円	628 台	22.6 t-CO_2
合計	1,167 件	30,782,000 円	1,360 台	89.9 t-CO_2

○ 稚内港脱炭素化推進計画策定事業

・ 稚内港脱炭素化推進計画策定業務委託

目　的	産業が集積する港湾地域において脱炭素化に向けた先導的な取組を集中的に行うことは、我が国の 2050 年のカーボンニュートラルの実現に効果的・効率的である。本市では、平成23年3月に「環境都市宣言」、令和3年2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、「人と地球にやさしいまち」を目指し、風力発電等の再生可能エネルギーの導入促進、新庁舎の ZEB 化等の取組を進めており、港湾地域においても脱炭素化に向けた取組を進めるため、稚内港脱炭素化推進計画策定に向けた検討・計画案作成を実施。
期　間	令和6年度
内　容	上記目的に検討・資料作成を行い、港湾関係者や行政機関で構成する「稚内港港湾脱炭素化推進協議会」で協議を実施。 ≪第2回≫ 日 時　令和6年12月19日(木) 内 容　稚内港港湾脱炭素化推進計画(素案)について ≪第3回≫ 日 時　令和7年2月17日(月) 内 容　稚内港港湾脱炭素化推進計画(案)について

【豊かな自然環境の保全】　〈131 ページ〉

○ 公害防止対策事業

・ 自動車の道路交通騒音測定を2箇所で実施し、公害監視を行った。

地域住民の生活環境を著しく損なう騒音は確認されなかった。

○ 不法投棄防止対策事業

・ 不法投棄防止対策として、監視員2人を雇用し、稚内市管内一円パトロールを実施

廃タイヤ・廃家電製品・家具類等 0.6tを回収 （昨年度 0.2t回収）

・ 不法投棄防止啓発看板の設置

・ 清掃活動「クリーンアップわっかない」の推進

町内会クリーン作戦（各町内会一斉） 春・秋:32 町内会 1,490 人

【循環型社会の実現】 〈133 ページ〉

○ 一般廃棄物収集事業

・ 一般廃棄物の収集量 7,610t （昨年度 8,031t）
（家庭系収集ごみ:4,820t、大型収集ごみ:22t、資源物収集:2,768t）

〔廃棄物処分場埋立て状況〕

	令和５年度	令和６年度
一般廃棄物	11,290 t	10,105 t
うち家庭系	4,940 t	4,714 t
うち事業系	3,962 t	3,858 t
その他一般廃棄物	2,388 t	1,533 t
産業廃棄物（合せ処理分）	1,497 t	1,428 t
埋立て処理合計	12,787 t	11,533 t

○ 生ごみ中間処理施設管理運営事業

・ 稚内市バイオエネルギーセンター（生ごみ中間処理施設）において、生ごみ等の中間処理により、ごみの減容化を図り、さらに処理過程で発生するバイオガス（メタンガス）のエネルギーとしての活用や、最終残渣を肥料とするなど、有効活用を図った。

〔稚内市バイオエネルギーセンター処理状況〕

	令和５年度	令和６年度
投入量	3,713 t	3,633 t
生ごみ	1,470 t	1,324 t
下水道汚泥	2,031 t	2,060 t
その他（水産残渣、紙、廃食用油）	212 t	249 t
処理不適物	345 t	311 t
実質処理量	3,368 t	3,322 t
残渣排出量（減容率）	656 t（80.5%）	615 t（81.5%）
発生ガス量（※）	450,147N ㎥	398,398N ㎥
ガス回収率（※）	132N ㎥/t	119N ㎥/t

※ガス量 50%換算値

○ ごみ減量化対策事業

・ ごみ総排出量 13,497t （昨年度 14,985t）
・ 一人一日当たりごみ排出量 1,212g/人・日 （昨年度 1,314g/人・日）
・ 小中学校、町内会等による資源物集団回収の促進を目的として、資源物集団回収奨励金を交付した。
実施団体数 9 団体（昨年度 10 団体）
回収量 113.5t（昨年度 154.4t）

○ 分別収集事業

・ 資源化量 3,015t（昨年度 3,233t）

資源物処理量 2,768t（古紙類 1,774t、ビン類 248t、缶類 128t、ペットボトル 159t、古衣類 35t、容器包装プラ 305t、その他 119t）

生ごみメタン資源化量 247t（メタン化量 136t、堆肥化量 111t）

・ リサイクル率 22.3%（昨年度 21.6%）

【住みよい生活環境の確保】 〈131・135・155 ページ〉

○ 公衆浴場確保対策等事業費補助事業

・ 稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金

住民の保健衛生上不可欠で、将来にわたって必要とされる公衆浴場の廃業を防止し、利用の機会を確保するため、市内 1 浴場に対し、事業費の補助を行うのが目的であるが、令和 6 年度は基準入浴客数を超えていることから、稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金交付要綱に定める補助対象施設に該当しなかった。

○ 火葬場管理運営事業

・ 火葬場使用実績:638 件（昨年度:673 件）

・ 稚内聖苑整備工事（火葬炉改修、燃料ギアポンプ交換、動力制御盤電気計装更新）

○ 合葬墓管理運営事業

・ お墓の維持管理や承継が困難な方、やむを得ず自宅にお骨を保管している方などの問題の解消のため「稚内市合葬墓」への納骨を行った。

申し込み件数 69 件（昨年度:71 件） 埋蔵数 148 体（昨年度:158 体）

○ し尿処理事業、浄化槽汚泥処理事業

・ し尿及び浄化槽汚泥を下水終末処理場で下水汚泥と共同処理を行った。

し尿処理量 1,158 件 638.6kl/年 浄化槽汚泥処理量 1,221 件 3,067.8kl/年

○ 除雪対策管理事業

・ 除排雪業務委託

除雪回数 14 回

除雪延長（市内 192.5km、郡部 140.3km）

・ 融雪剤・砂散布業務委託

・ スノーポール設置、撤去業務委託（設置数 1,768 本、防雪柵 1,595m）

・ 歩道柵設置、撤去業務委託（転落防止柵 592m 等）

・ ロードヒーティング維持管理業務委託 11 箇所

・ 上猿払清浜線除雪業務委託（北海道受託）

・ 融雪剤散布機設置、撤去業務委託 2 箇所

(4) 安全・安心な暮らしづくり

【消費者教育及び消費者被害防止活動の推進】 〈101 ページ〉

○ 消費生活安定事業

・ 消費者被害未然防止のための啓発活動(消費生活パネル展等)

・ 連絡会ニュースの発行(年 4 回)

○ 消費者センター運営事業

・ 消費生活相談業務の広域対応　相談件数 166 件、うち稚内市 118 件
(昨年度　相談件数 174 件、うち稚内市 121　件)

○ 物価・量目調査事業

・ 物価調査 ～ 調査員 ： 稚内市消費生活モニター　6 人
生活関連物資(47 品目)の価格調査を毎月 1 回実施

・ 量目調査 ～ 調査員 ： 稚内市消費生活モニター　6 人
食料品(6 品目)を購入し、量目調査を年 2 回実施

【交通安全対策及び防犯対策の推進】 〈99・101・153 ページ〉

○ 交通安全対策事業

・ 一般交通安全指導員　10 人

事業内容	出動延べ回数	
	令和 5 年度	令和 6 年度
春秋の全国交通安全運動街頭指導	128 回	79 回
その他の運動(街頭啓発、パトライト作戦等)	55 回	47 回
各種行事交通整理	14 回	18 回

・ 学校交通安全指導員　11 人
配置校：稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、稚内港小学校、潮見が丘小学校（市内 5 小学校)

・ 交通安全啓発資材(夜光反射材等)の購入

事　業　内　容	区　分	令和 5 年度	令和 6 年度
交通安全教室・講習会 (幼児～高齢者)	開催回数	12 回	8 回
	参加人数	1,377 人	848 人
交通安全大会	開催回数	2 回	2 回
	参加人数	146 人	148 人

・ 運転免許自主返納奨励品

65 歳以上の稚内市民で運転免許証を自主返納した方に対し、わっかない地域商品券 2,000 円分を交付。

交付申請件数 86 件(昨年度:76 件)、交付決定件数 86 件(昨年度:76 件)

○ 防犯活動推進事業

・ 青色防犯パトロール実施回数(市公用車) 延べ 1,612 回 (昨年度 1,441 回)

○ 道路橋梁維持管理事業(道路交通安全施設の整備)

・ 区画線整備 13.49km

・ カーブミラー設置 1 箇所

【消防・救急体制の充実】 〈163 ページ〉

○ 消防施設等の整備

・ 消防署機械室ドライエリアステンレス建具取替工事

・ 小型動力ポンプ付積載車購入 1 台(第 12 分団)

・ 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入 1 台

【鳥獣被害防止対策の強化】 〈143 ページ〉

○ 鳥獣被害防止対策事業

区分	令和 5 年度	令和 6 年度
エゾシカ捕獲数(被害防止及び数の調整)	914 頭	952 頭
アライグマ捕獲数(市職員及び委託業者)	448 頭	260 頭
カラスの巣撤去出動回数	40 回	57 回
捕獲許可件数(市許可)	81 件	89 件
エゾシカ	22 件	24 件
キツネ	3 件	3 件
カラス	56 件	62 件

まちを愛し、世界に誇れる“ふるさとづくり”

(1) 郷土愛の醸成・まちの魅力の発信

【「ふるさと稚内」のＰＲ活動の推進】 〈97 ページ〉

○ ふるさと納税推進事業

- ふるさと納税制度による本市への寄附促進と、地元特産品のPRや地元産業の活性化を図るため、平成 27 年 11 月より、ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」において、お礼品の贈呈を開始した。
- 更なる寄附促進と地元特産品の PR や地元産業の活性化を図るため、令和元年 11 月にふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」、同年 12 月に「ANA のふるさと納税」、令和 3 年 4 月に「ふるなび」・「ふるさとパレット」・「楽天ふるさと納税」・「JRE モール」、令和 5 年 4 月に「セゾンのふるさと納税」・「auPAY ふるさと納税」令和 6 年 4 月に「ふるラボ」、同年 11 月に「KABU＆ふるさと納税」、同年 12 月に「Yahoo!ふるさと納税」を拡充。
- 稚内に関わりを持つ人々との関係強化のために、過去に本市へ寄附をしていただいた方に対しダイレクトメールを送付した。
- Google 掲載サイト内での広告掲載、関東圏及び関西圏への紙面広告の掲載、Yahoo！や Google、Logicad への Web 広告、SNS（LINE 及び Instagram）での広告による PR を実施した。

〔寄附実績〕

	令和 5 年度	令和 6 年度
寄附件数	109,257 件	92,610 件
寄附額	1,952,726,984 円	1,868,233,000 円

〔使途別〕

	項　　目	件　数	寄 附 額
①	教育及び少子化対策に関する事業	19,090 件	377,551,000 円
②	国内及び国際の交流に関する事業	609 件	12,193,000 円
③	福祉及び医療に関する事業	5,458 件	107,958,000 円
④	環境、新エネルギー及び省エネルギーに関する事業	3,346 件	66,797,000 円
⑤	地場産業の振興に関する事業	8,242 件	163,727,000 円
⑥	文化及びスポーツの振興に関する事業	1,433 件	28,797,000 円
⑦	その他市長が必要と認める事業	54,432 件	1,111,210,000 円
合　　計		92,610 件	1,868,233,000 円

○ 企業版ふるさと納税

〔寄附実績〕

事 業 名	件数	寄附額
再生可能エネルギー推進事業	2 件	1,100,000 円
がん検診事業	1 件	100,000 円
鳥獣被害防止対策事業	1 件	1,000,000 円
稚内ブランド推進事業	1 件	300,000 円
合　　計	5 件	2,500,000 円

(2) 国内外との交流促進とホスピタリティの向上

【まちを訪れる人の満足度向上】 〈149 ページ〉

○ 稚内観光マイスター推進事業費補助事業

	受験者数	合格者数	累計
初級	205 人	171 人	2,294 人
中級	18 人	3 人	185 人
上級	8 人	0 人	30 人

【国際交流の推進】 〈97 ページ〉

○ 多文化共生推進事業

・ 国際交流員の任用　1 人(ベトナム国籍、令和 6 年 8 月着任)

異文化理解の促進、交流イベントの企画、通訳・翻訳のほか、在住外国人向け各種サポート等(生活相談、ベトナム語での情報発信、オンライン日本語指導ほか)を行った。

(3) 移住・定住の促進と関係人口の拡大

【若者の定着・Ｕターンの促進】 〈97 ページ〉

○ ＵＩＪターン新規就業支援事業

・ 稚内市への移住・定住の促進及び中小企業等の人手不足の解消を目的に、東京圏から稚内市に移住することを前提とし、北海道が運用するマッチングサイトを通じて登録事業者に就職、あるいは稚内市で起業に至った場合に助成金を支給する。

マッチングサイトに登録し求人募集を行った事業者数 ： 6 社(令和 7 年 3 月末現在)

令和 6 年度助成件数:0 件

物　価　高　騰　等　対　策　事　業

〈93・109・115・117・139・147・185 ページ〉

事業名	事業内容
物価高騰対応プレミアム地域商品券発行事業 ※令和５年度からの繰越事業	物価高騰の影響を受けている市民の生活を支えることを目的として、「わっかない生活応援プレミアム地域商品券」を発行した。 ・１セット 3,000 円で販売、プレミアム率 33.3%（4,000 円分の地域商品券） ・１人３セットまで。 ・令和６年２月末日に住民登録されている市民に対して購入はがきを発送。 ・販売期間 ： 令和６年４月６日～5 月６日 ・利用期間 ： 令和６年４月６日～6 月 30 日 ・60,000 セット中、59,579 セット販売（99.3%）／換金総額 237,639,000 円（換金率 99.7%）
住民税非課税世帯価格高騰対策給付金支給事業 ※令和 5 年度からの繰越事業	物価高騰の影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給した。 ・基準日（令和5年12月１日）時点で稚内市に住民票がある下記の支援対象世帯に給付金を支給。 ①住民税均等割のみ課税世帯:1 世帯につき 10 万円（36 世帯　3,600,000 円） ②低所得者の子育て世帯:住民税均等割のみ課税世帯、住民税非課税世帯の 18 歳以下の児童１人につき５万円（4 人　200,000 円）
中小企業等物価高騰対策支援事業 ※令和 5 年度からの繰越事業	物価高騰や電気料金の値上げなど、事業活動に大きな影響を受けている中小企業者及び個人事業主、特定非営利法人、公益法人、協同組合等に対し、電気料金を助成した。 ・支給実績:187 件　11,220,000 円
定額減税調整給付金支給事業	国のデフレ完全脱却のための総合経済対策に基づき、定額減税において、減税額を十分に引ききれないと見込まれるものに、差額分の補填を行う。 ・支給実績:5,059 人　185,090,000 円
住民税非課税世帯等価格高騰対策給付金支給事業	物価高騰の影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給した。 ・基準日（令和６年６月３日）時点で稚内市に住民票がある下記の支援対象世帯に給付金を支給する。 ①住民税非課税世帯:1 世帯につき 10 万円（407 世帯　40,700,000 円 ②①の低所得者の子育て世帯:18 歳以下の児童１人につき５万円（33 人　1,650,000 円） ③住民税均等割のみ課税世帯:1 世帯につき 10 万円（209 世帯　20,900,000 円） ④③の低所得者の子育て世帯:18 歳以下の児童１人につき５万円（25 人　1,250,000 円）

事業名	事業内容
低所得者世帯物価高騰対策給付金支給事業①	物価高騰の影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給した。 ・基準日（令和6年12月13日）時点で稚内市に住民票がある下記の支援対象世帯に給付金を支給する。 ①住民税非課税世帯： 1世帯につき3万円（4,156世帯 124,680,000円） ②①の低所得者の子育て世帯：18 歳以下の児童 1 人につき 2 万円（263 人 5,260,000円）
低所得者世帯物価高騰対策給付金支給事業②	物価高騰の影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給した。 ・基準日（令和6年12月13日）時点で稚内市に住民票がある下記の支援対象世帯に給付金を支給する。 ①住民税均等割のみ課税世帯： 1世帯につき3万円（200世帯 6,000,000円） ②①の低所得者の子育て世帯：18歳以下の児童1人につき2万円（13人 260,000円）
高齢者・障害者施設等物価高騰対策支援事業	福祉サービスの安定的な提供を確保するため、物価高騰等の影響を受ける市内の高齢者・障害者施設を運営する法人に対し支援金を支給した。 ・ 支給実績：13法人 33,480,000円
酪農畜産経営安定支援対策事業	飼料・肥料の物価高騰や牛価格の急落など、大きな影響を受けている酪農畜産経営者に対し、給付金を支給した。 給付金 ： 市内で乳用牛・肉用牛を飼養している個人経営体又は法人経営体に対し、乳用牛成牛一頭あたり3,000円、乳用牛育成牛・肉用牛一頭あたり1,500円を支給 ・支給実績：98経営体 38,676,000円
地域公共交通・運送事業者等緊急支援事業	物価高騰や燃料費の値上げなどの影響を大きく受ける中小企業者に対し、支援金を支給した。 ・ 乗合バス、貸切バス、貨物自動車（福祉車両、霊柩車を除く）：1台につき4万円 支給実績 ： 33社（562台）、22,480,000円 ・ その他（福祉車両、霊柩車、軽貨物、タクシー、運転代行）：1台につき2万5千円 支給実績 ： 19社（103台）、2,575,000円
学校給食食材高騰対策事業	給食センターで使用する給食食材の高騰による影響額及び単独調理校で使用する給食食材の高騰による影響額を負担した。 食材高騰影響額 ： 給食センター分34,005,421円、単独調理校分608,583円